

2012～2013年度

私立大学図書館協会研究助成
「機関研究」報告書

Moodle 等の ICT ツールを活用した学習支援活動の研究

2014年4月4日

湘南工科大学メディア情報課

2012～2013年度私立大学図書館協会「機関研究」報告書
「Moodle等のICTツールを活用した学習支援活動の研究」

目次

1 はじめに	1
2 研究の背景.....	1
2.1 湘南工科大学附属図書館とメディア情報センターについて.....	1
2.2 Moodle等のICTツールについて	2
2.3 本学におけるMoodle導入の背景.....	3
2.4 新入生図書館ガイダンス	4
2.4.1 設備・人員	4
2.4.2 新入生図書館ガイダンスの流れ.....	4
2.5 図書館利用ガイダンス（検索実習）	5
2.5.1 設備・人員	5
2.5.2 図書館利用ガイダンスの流れ	6
2.6 図書館ボランティア.....	8
2.6.1 設備・人員	8
2.6.2 図書館ボランティアの流れ.....	10
3 研究の目的.....	12
4 Moodleを活用した図書館利用ガイダンスの評価	12
4.1 評価について	12
4.2 方法	13
4.2.1 情報活用の実践力尺度	15
4.2.2 アンケート	16
5 結果と考察.....	18
5.1 情報活用の実践力尺度.....	18
5.2 アンケート集計結果	19
5.2.1 図書館利用ガイダンス（検索実習）アンケート集計結果	19
5.2.2 Moodle等のICTツールを利用した学習に関するアンケート集計結果.....	22
6 おわりに	36
注	36
資料編.....	41
資料1 審査結果(通知).....	42
資料2 図書館アンケート用紙.....	43
資料3 Moodle等のICTツールを利用した学習に関するアンケート用紙.....	45
資料4 図書館利用ガイダンス（検索実習）アンケート自由記述.....	55

〈図・表リスト〉

〈図〉

図 1 本学附属図書館とメディア情報センターの組織図	2
図 2 電算機演習室(A302)	6
図 3 電算機演習室(A302)のパソコンモニタ	6
図 4 Moodle 図書館利用ガイダンス（検索実習）画面	7
図 5 事前講習会の様子	10
図 6 事前講習会での講義	11
図 7 「情報活用の実践力」の構造	13
図 8 情報活用の実践力調査のスケジュール	16
図 9 図書館利用ガイダンス（検索実習）アンケート質問項目（2012 年度）	17
図 10 タブレット端末の利用状況（単位：人）	22
図 11 タブレット端末への興味・関心（単位：人）	23
図 12 タブレット端末の購入意欲（単位：人）	24
図 13 所有しているタブレット端末の種類（単位：人）	25
図 14 大学滞在時間（単位：人）	26
図 15 学内で利用している端末（場所別）（単位：人）	27
図 16 大学における学習時の問題点（単位：人）	28
図 17 大学のパソコン環境への問題点（単位：人）	29
図 18 調べものをする際の方法（単位：人）	29
図 19 Moodle の利用目的（単位：人）	30
図 20 Moodle が自分の学習に役立っていると思う点（単位：人）	31
図 21 Moodle の使いづらい点（単位：人）	32
図 22 場所・端末種別の 1 日の Moodle の平均利用時間（場所別）（単位：人）	33
図 23 Moodle についてどのように思っているか（単位：人）	34
図 24 Moodle の使いやすさ全般について（単位：人）	34

〈表〉

表 1 新入生図書館ガイダンスの流れ	5
表 2 図書館利用ガイダンスの流れ	7
表 3 湘南工科大学「図書館ボランティア」2013 年度スケジュール表（実習 50 時間内 訳）	9
表 4 情報活用の実践力尺度	13
表 5 収集力についての前後の得点差	18
表 6 判断力についての前後の得点差	18

表 7 収集力と判断力の合計についての前後の得点差.....	18
表 8 2013 年度図書館利用ガイダンス（検索実習）アンケート集計	20
表 9 2012 年度図書館利用ガイダンス（検索実習）アンケート集計	21
表 10 図書館利用ガイダンス（検索実習）アンケート自由記述集計（単位：人）	21
表 11 各端末（場所）の 1 日の平均利用時間（単位：分）	27
表 12 端末種別の 1 日の Moodle の平均利用時間（単位：分）	33

私立大学図書館協会研究助成「機関研究」

研究チーム

代表者	大谷 真	湘南工科大学メディア情報センター長（図書館長）
共同研究者	高池 宣彦	湘南工科大学メディア情報課課員
研究メンバー	岡 秀樹	湘南工科大学メディア情報課係長
同上	初鹿野 豊明	湘南工科大学メディア情報課課員
同上	佐藤 純子	湘南工科大学メディア情報課課員
同上	岡崎 直樹	湘南工科大学メディア情報課課員
同上	大隅 仁美	湘南工科大学メディア情報課課員
同上	今井 美和	湘南工科大学メディア情報課課員
同上	中村 智子	湘南工科大学メディア情報課主任（2012.4.1～2012.12.31）
同上	伊東(長谷川) 純子	湘南工科大学メディア情報課課員（2012.4.1～2013.1.31）
同上	唐澤 良英	湘南工科大学メディア情報課課員（2012.4.1～2012.8.31）

執筆・編集者

高池 宣彦

1 はじめに

多くの大学図書館では、所蔵資料や契約データベース等を使用して学生への学習支援活動¹が行われている²。また、選書ツアー³等を通じて図書館の蔵書への関心を高める活動も行われている。しかし、学生の興味を維持することは容易ではなく、既存の資料やデータベース等を活用するだけでは図書館利用に関する効果的なアプローチや学習支援は困難である。

「大学図書館の整備について（審議のまとめ）」では、「大学におけるe-Learningへの取り組みについて、大学図書館における学習、教育、研究への関わりが強調される中で、その教材作成への関与、教材の整理・提供といった面での貢献が期待」されている⁴。さらに、「学修環境充実のための学術情報基盤の整備について（審議まとめ）」でも、「図書館の効果的活用と機能強化は喫緊の課題である」⁵とされ、学生の主体的な学習を支援するため、「アクティブ・ラーニングの推進において、図書館が教育面でより積極的に関与していく観点から、教材等の資料作成を支援していく体制を構築すべき」としている⁶。

それゆえに、今後は大学図書館員が能動的に数々の施策を講じ、所蔵・契約資料はもちろん、学習環境、ICT⁷を使った学習方法、教員との連携、地域との人脈などを活用してより広汎な活動へと進展していく中で、教育機関の一部である図書館の機能を発展させることが重要である⁸。そのためにも、学生がどのようにICTツールを活用しているかを明らかにすることが、適切な学習支援活動を行う上で重要であると考え、本研究では学習支援活動の評価を行い、Moodleを利用した教育へ示唆することを目的とする。

2 研究の背景

2.1 湘南工科大学附属図書館とメディア情報センターについて

湘南工科大学附属図書館（以下、本学図書館という）では、2011年度からMoodleを利用した「図書館ガイダンス」を開始した。また、藤沢市、茅ヶ崎市立図書館における「図書館ボランティア」でもMoodleを利用しており、学生の図書館への関心向上に貢献している。

湘南工科大学（以下、本学という）の附属図書館とメディア情報センターの組織図を図1に示す。

図書館とメディア情報センターが同じセクションである長所は、上下関係でなく、対等的な連携が取れる点である。例えば、国立情報学研究所等の研修にもメディア情報センターの職員が参加し、図書館にノウハウをフィードバックするなどの関係が築かれている。

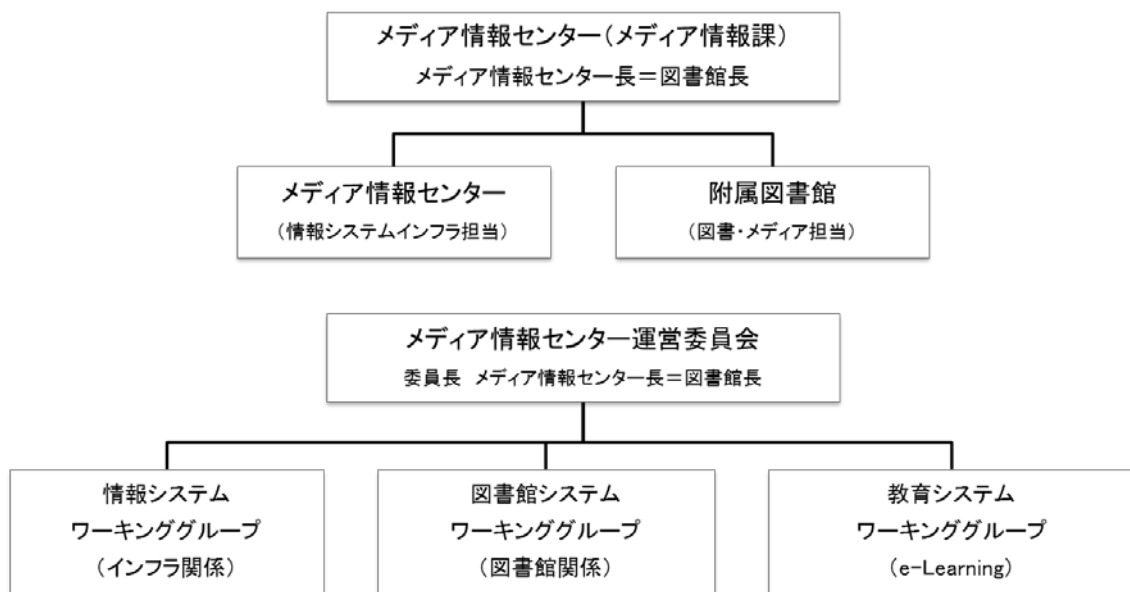


図1 本学附属図書館とメディア情報センターの組織図

2.2 Moodle等のICTツールについて

近年、教育分野においてICTの教育への活用が推進されており⁹、積極的にICT化を進めている教育機関ほど、ICT化による学生の学習態度改善や、学生の基礎科目の学力向上の効果をj得ているという調査結果もある¹⁰。また、学習管理システム（LMS：Learning Management System）の導入も進められている¹¹。学習管理システムとは、教員や学生の教育・学習活動を支援するシステムである¹²。主な機能として、(1)教材配信、(2)学習履歴の蓄積、(3)学習進捗の管理、(4)教員と学習者間のコミュニケーションの四つが挙げられる¹³。「ICT活用教育の推進に関する調査研究」によると、大学では40.2%がLMSを利用しており、その内訳は「Moodle」（43.0%）、「独自開発システム」（22.9%）、「WebClass」（11.9%）、「Blackboard」（10.8%）となっている¹⁴。その中から本章では、Moodleについて概略する。

Moodle（ムードル）とは、オーストラリアのパースにあるカーライン工科大学のMartin Dougiamas（マーチン・ドウギアマス）らが、インターネット上で授業用のWebページを作るためのソフトウェアとして開発したものである¹⁵。無償で配布されているOSS（オープンソースソフトウェア）で、利用環境に合わせて改変できる特徴がある。プログラムを作成できる知識があれば、比較的容易に管理ができ、市販のe-Learningシステムのようにベンダーに依存しなくてよいことや無償であることなどから、近年普及してきている。

Moodle等のICTツールの教育への導入は、この数年で著しく増えている。その背景には、

社会におけるICTの進展と、それに伴う学生文化の変化がある。ほとんどの学生が、スマートフォン、タブレット型端末やパソコンで情報交換を行い、ICTを利用した情報交換、情報収集が、学生の文化の一部となっている現状において、掲示板などに注意を払わない学生も多い。そうした学生に、確実に情報を伝え、学習支援を行う上で、ICTツールを使うことには、高い教育効果が期待される。

Moodleの教育への利用に関しては、利点と問題点が述べられている。野澤（2008）は、Moodleを利用する教育上のメリットとして、次の四つを挙げている¹⁶。

- ・既存授業の支援や強化ができる
- ・授業設計の改善ができる
- ・教材の再利用のサイクルができる
- ・授業設計の再構築が期待される

永田（2013）は、WebClassと比較した上で、コミュニケーションツールが充実しており、協調学習に向いているとしている¹⁷。

Moodleの問題点としては、商用ソフトウェアとのサポート体制の違いが挙げられる¹⁸。また、事前に授業ごとのコースを作成し、履修者を登録する作業があるため、運用体制を整える必要がある¹⁹。

Moodleを用いることで、場所や時間を問わず学習ができ、学生と教員・図書館員で相互に意見を書き込むことも可能である。また学生は課題を互いに評価でき、教員（講師）は、出席管理や理解度をチェックできるなど、優れた特徴を持つ。図書館に関連した教育や、それを通した基礎的な修学教育を効率的に行うことも可能である。

本学を含めた多くの大学図書館においても、工夫をしながら図書館ガイダンスを行っているようであるが、学生側にとっては一過性の様相が強く、欠席などをした場合は情報を得られない状態になる。このような状況を避けるためには、Moodleのようなシステムに図書館のコンテンツを蓄積して、再確認や遅れても追従できるような環境が必要である。

2.3 本学におけるMoodle導入の背景

本学図書館は、2011年度からMoodleを利用した「図書館利用ガイダンス」を開始した。

以前はBlackboard²⁰を導入していたが、高額であったにもかかわらず、利用する教員が少なく、一時はe-Learning自体の存続が危ぶまれた。しかし、Moodleの採用が決まり、メディア情報センターでMoodleシステムを構築したところ、専任教員に加え非常勤講師の利用も増えた。その後、メディア情報センターとメディア情報センター運営委員会の教育システムワーキンググループが中心となってマニュアルを作成し、普及に努めた。学内の基幹システムの認証を統一したことから、本学の図書館システム（LIMEDIO²¹）のマイライブラリやオンラインジャーナル等に関係する認証も学内と同一のものとした。それにより、教室のパソコンとMoodle、そして図書館システムの認証を統一でき、図書館利用ガ

イダンスでMoodleを使うことに対して学生は抵抗が少なくなったと考えられる。

Moodleは、科目ごとに登録メンバーのみがアクセスできるよう設定することも、ログインできる者すべてに情報を提供することもできる。図書館は、学生や教員等の情報を把握・管理しているメディア情報センターと同じ課であることや、学術情報を扱うセクションであることから、あらゆる対象者を想定したコンテンツを作成・提供できる環境にある。以上の理由から、本学図書館においてMoodleを利用したガイダンスを開始することとなった。

現在、本学図書館が行っているガイダンスは、4月に新入生を対象として行われる「新入生図書館ガイダンス」と、1年次を対象とした必修科目「修学基礎A・B」の中で行われる「図書館利用ガイダンス」の二つで、その内、「図書館利用ガイダンス」でMoodleを使っている。情報端末が少ないエリアや研究室などで行うガイダンスの場合、タブレット型端末を図書館から持参し利用することによってMoodleでのガイダンス実施が容易になると考えられる。

さらに、藤沢市総合市民図書館、茅ヶ崎市立図書館と連携した「図書館ボランティア」活動においても、Moodleを活用している。

2.4 新入生図書館ガイダンス

本学図書館では、例年4月に新入生ガイダンスを行っている。2013年度は2日間で511名を対象に実施した。

2.4.1 設備・人員

本学図書館には大人数を収容できるホールがないため、閲覧席に椅子を並べて90席ほど用意した。図書館ホームページの紹介やOPACを実際に体験してもらうため、各テーブルに1台ずつ、計8台のiPadを設置した。また、PowerPointで作成した資料を見せて進行するためスクリーンもセッティングした。

2013年度は図書館職員5名、委託スタッフ2名の他に学生アルバイト2名で進行した。

2.4.2 新入生図書館ガイダンスの流れ

学科ごとに2日間で6回（1回60分）実施した。1回の人数は80～90名ほどである。主な内容は、PowerPointで作成したスライドを用いた図書館全体のガイダンス、DVD「情報の達人」の視聴、館内ツアーである。表1に新入生図書館ガイダンスの流れを示す。スライドは33枚、内容は図書館で利用できる資料やサービスの紹介、OPAC、フロアガイドなどである。OPACの説明では、iPadを使って実際に体験してもらう。全体ガイダンス後の館内ツアーは、スペースの都合上、全員一斉に館内を回ることができないため2回に分けて行っている。

表1 新入生図書館ガイダンスの流れ

時間	大講義室前に集合→2階閲覧室へ			
20分	館内全体ガイダンス（OPAC画面&マイライブラリ説明&館内の案内） ※iPadを各テーブルに設置し検索などをさせる			
	A	B	C	D
10分	DVD「情報の達人」 第0講図書館へ行こう（2分）		3階ツアー	2階ツアー
10分	第8講図書館サービスのいろいろ（6分） 第7講図書館で資料を探す（10分）		2階ツアー	3階ツアー
10分	3階ツアー	2階ツアー	DVD「情報の達人」 第0講図書館へ行こう（2分）	
10分	2階ツアー	3階ツアー	第8講図書館サービスのいろいろ（6分） 第7講図書館で資料を探す（10分）	
終了後	解散または次のガイダンス会場へ		解散または次のガイダンス会場へ	

2.5 図書館利用ガイダンス（検索実習）

本学では、1年次を対象とした図書館利用ガイダンスを2006年度から行い、Moodleを利用しているガイダンスは2011年度から行っている。2013年度は5月から11月にかけて学科ごと計9回実施した。

2.5.1 設備・人員

会場はコンピュータリテラシー講義で使用する電算機演習室（A302）を使用している（図2）。ここでは、1席につきモニタが3台あるため（図3）、中央の画面は学生の操作端末、右は職員解説用Moodle画面、左はガイダンスのポイントや本の実物を、オーバーヘッドプロジェクタで投映するといった使い分けが可能である。職員は講師担当1名、質疑応答対応のサポートに3名の編成である。



図2 電算機演習室(A302)



図3 電算機演習室(A302)のパソコンモニタ

2.5.2 図書館利用ガイダンスの流れ

2013年度は六つの学科を9回に分けて実施した。1回の人数は学科により差があるが、30名～60名ほどである。実際にMoodleの画面を見せながら学生と一緒に進行していくが(図4)、作業が分からなくなった場合、左右の画面で手順を確認し遅れを取り戻すことができる。90分間の大まかな内訳は、60分間でMoodleの操作確認、著作権について、出典の記

述方法、図書館ホームページ・OPAC・データベースの紹介や小クイズ、課題を行い、残り30分間は図書館へ移動し資料の貸出手続きをしてもらう（表2）。



図4 Moodle 図書館利用ガイダンス（検索実習）画面

表2 図書館利用ガイダンスの流れ

時間	項目	内容
10：40～（2分）	自己紹介・本日の内容	自己紹介と本日の内容を説明する
10：42～（6分）	アンケート1	アンケートの実施（全員回答したかを確認する）
10：48～（2分）	Moodleについて	Moodle操作の注意点
10：50～（10分）	著作権について	著作権どこまで知っていますか？クイズ
11：00～（5分）	図書館ホームページ	湘南工科大学附属図書館ホームページから利用できる検索ツールの案内
11：05～（10分）	OPACについて	OPACについて（＋電子図書）
11：15～（10分）	データベースについて	聞蔵Ⅱ（朝日新聞記事検索データベース）と日経BP記事検索サービスの紹介
11：25～（10分）	課題	聞蔵Ⅱ（朝日新聞記事検索データベース）や日経BP記事検索サービスを利用して課題に取り組み、Moodleに回答を入力する 締切りまでに自分で蔵書検索をして図書を1冊貸出手続きする
11：35～（5分）	アンケート2	
11：40～12：10	図書館へ誘導	

講義型のガイダンスでは、学生の集中力の持続時間に考慮し、随所にアンケートや小クイズを入れる工夫をしている。Moodleはクイズの回答をリアルタイムで見ることのできるため、正解率に合わせた解説をすることも可能である。著作権については、レポートを書く際、安易にWikipediaなどからコピー＆ペーストしないよう、注意を呼びかけ、正しい出

典の記述方法を教える。これは、学生にとってレポートを書く際の必須条件となるため、教員からの要望もあり時間を掛けて詳しく教えている。

図書館ホームページ・OPACの紹介は4月の新入生ガイダンスでも教えているが、課題のひとつにOPACで検索し、請求記号等を記入するという項目があるため、より詳しい機能を紹介し、実際にOPACを使ってもらう。データベースは、朝日新聞のオンラインデータベースである聞蔵IIと、日経ビジネスを始めとした日経BP社の雑誌記事データベースである日経BP記事検索サービスを紹介し、それぞれ好きなキーワードで検索してもらう。

2.6 図書館ボランティア

本学では「プロジェクト実習」という授業の中に「図書館ボランティア」という科目がある。「図書館ボランティア」は、学内での講義・実習を本学教員、本学図書館員が担当した後、大学と提携している公共図書館において4日間の公共サービスに従事するという短期実習の形をとっている。2010年度から藤沢市総合市民図書館で実施され、2011年度からは茅ヶ崎市立図書館でも実施されている。

2.6.1 設備・人員

この授業は短期集中型授業で年2回行っているため、学生は実習前の事前講習と実習4日間の50時間を必須活動時間としている。表3に50時間の内訳を記載する。

表3 湘南工科大学「図書館ボランティア」2013年度スケジュール表（実習50時間内訳）

内容	時間
0. 4月／10月履修登録前ガイダンス（4回実施のうち1回出席）	0.5
1. 事前説明会（5月中旬／11月中旬） ①スケジュール表 ②守秘義務誓約書 ③班分け・連絡先（メール含む）確認	1.5
2. 事前講習会（講習会会場：湘南工科大学附属図書館） 第1日目（前期）6月15日 （後期）11月30日 第2日目（前期）6月22日 （後期）12月7日	10
3. 茅ヶ崎市立図書館事前説明会・藤沢市総合市民図書館事前説明会 会場：茅ヶ崎市立図書館 （前期）8月6日／（後期）12月14日 会場：藤沢市総合市民図書館 （前期）8月7日／（後期）12月21日	3
4. 実習（茅ヶ崎市立図書館・藤沢市総合市民図書館） （前期）茅ヶ崎1班：8月20日～8月23日 茅ヶ崎2班：9月3日～9月6日 藤沢第1班：8月27日～8月30日 藤沢第2班：9月3日～9月6日 （後期）茅ヶ崎：2月4日～2月7日 藤沢：2月11日～2月14日	32
5. 実習報告会（会場：湘南工科大学附属図書館） （前期）9月9日 （後期）2月17日	3
合計時間	50

※このほかに、前期は6～7月、後期は12～1月に週1回程度の大学図書館内
ボランティア作業・課題提出（Moodleを使用）などを実施している。

実施場所は本学図書館内と実習先公共図書館の2か所で、担当教員6人と職員5人で対応を行っている。本学図書館内ではグループ学習室を使用している。グループ学習室内には人数分のパソコン設備がないため、履修者にはタブレット型端末を使用している。（受講人数により1人1台～4人で1台）

2.6.2 図書館ボランティアの流れ

「図書館ボランティア」の1回の受講定員は20名である。受講条件は、(1) 履修登録前ガイダンス出席、(2) エントリーシート提出、(3) 実習期間中全てのイベントへの出席の3点である。

提出されたエントリーシートの内容と定員を考慮し、受講者を決定する。受講者が決定した後、事前説明会でスケジュール、実習班分け、連絡先等の確認を行う。また、実習中に実習先公共図書館の利用者の個人情報を取り扱うことがあるので、守秘義務誓約書の提出を求める。この説明会時に連絡事項や課題の提出など、図書館ボランティアに関することをMoodle上に掲載するので、常にMoodleの更新内容をチェックするよう受講者に喚起している。

事前説明会后1～2週間以内に、学生は事前講習会として2日間で10時間、本学図書館で講習を受ける（図5）。



図5 事前講習会の様子

事前講習会では、本学図書館員が、図書館員の倫理綱領から図書館業務の流れを説明し、日本十進分類法や図書の各部分の名称、配架や装備、カウンター体験、絵本の読み聞かせやおりがみ作成指導、実習先での接遇の説明等を行う。この講習会では内容に沿ったテキストを本学図書館員が作成、講義も行っている（図6）。



図6 事前講習会での講義

学内での事前講習会を終了した後は実習先図書館で行われる現地事前講習会（1日間）に参加する。実習先図書館の雰囲気や概要、独自の整理方法などの説明を受ける。その際は担当教員と職員が学生の引率を行う。

実習までの1ヶ月間は1週間に1度1時間程度本学図書館での館内ボランティアを行う。ボランティアの内容は配架作業やおりがみ、本を保護するブックカバー（ブッカー）貼り、POP広告作り、接遇の説明などを行う。また、この期間中にMoodleを利用し課題提出をすることになっている。Moodleでの課題は3問とし、1問につき1週間程度の回答期間を設けて出題している。出題内容は①高校生への図書推薦文の作成（1冊）、②各実習先公共図書館の利用規則のテスト（全10問）③各実習先公共図書館の配架場所テスト（全10問）としている。また、実習期間中に公共図書館でおりがみ会を実施する場合は、事前に学内でおりがみの講習会を行い本番に備えている。

学内での事前講習をすべて終わると各公共図書館での4日間の実習が始まる。実習内容は各実習先によって異なるが主に三つのイベントを体験することになっている。まず①配架やカウンター業務、おはなし会の手伝い、保存庫の整理やデータ処理などの作業。その中でも藤沢市総合市民図書館は、神奈川県内では点字図書館を併設している珍しい図書館であるため、点字図書館への資料運搬・カセットテープ処理・録音資料の整理・点字テプラ作成・点字図書館封筒作成等も行う。次に②ブックスタートの手伝い、③おりがみ会やパラパラマンガなどの本学教員を講師としたイベント開催時の補助がある。②ブックスタ

ートとは、公共図書館と保健所の協力活動で、赤ちゃんの検診時に、絵本等のブックスタートパックを配布し、おはなし会などを行い、読書相談に応じる。学生は市の保健センターで行われる時のブックスタートのお手伝いとして参加し、参加者へ絵本を手渡し、絵本の配布冊数の確認や、検診に付き添って来た兄弟姉妹の世話をする。

このような内容で4日間の実習を終了した後、履修生全員と担当教員と図書館職員が集まり、発表会を行う。発表会では履修生全員から、1人10分程度実習について感想を発表してもらっている。

3 研究の目的

日本の大学図書館におけるe-Learningに関する文献は、システムの開発・運用評価や事例報告²²が多数を占めており、図書館員によるe-Learningを活用した学習支援の効果を評価した研究は多いとは言えない。また、学生がどのようにICTツールを活用しているか明らかにすることが、適切な学習支援活動を行う上で重要である。それを踏まえ、本研究の目的は以下の2点とする。

- ・適切な学習支援活動を行う上で重要であるため、学生がどのようにICTツールを活用しているかを明らかにすること
- ・Moodle等を利用した学習支援活動の評価を行うこと

4 Moodleを活用した図書館利用ガイダンスの評価

4.1 評価について

急速な情報化の進展による、急激かつ大幅な社会の変革の中にあっては、情報を主体的に選択・活用できる能力や情報社会に参画する態度等の「情報活用能力」が必要であると言われている²³。大学図書館は情報活用能力育成の重要性を認識し、かねてより図書館オリエンテーションや図書館ガイダンスといった利用教育を実施してきた²⁴。

図書館の評価指標は、経営サイクルのどの領域に関わるかによって、インプット、アウトプット、アウトカム、プロセスの4種類に分けられる。そのうち、アウトカムは、図書館の活動が生み出した効果、使命（役割）の達成度に係る指標である²⁵。ACRL（米国大学・研究図書館協会）の新「高等教育機関における図書館基準」でも、「図書館の職員は、情報リテラシー学習をカリキュラム、コース、課題に取り込み、その成果がえられるように教員と協力し合う」とされている²⁶。

本研究では、図書館利用ガイダンスは、学生の「情報活用の実践力」に影響を与える、という仮説を置き、検証した。

4.2 方法

「情報活用の実践力」は、「課題や目標に応じて情報手段を適切に活用することを含めて、必要な情報を主体的に収集・判断・表現・処理・創造し、受け手の状況などを踏まえて発信・伝達できる能力」であると定義されている²⁷。高比良ら（2001）は、「情報活用の実践力」の構成概念を6種類の能力を統合したものと定義し、その因子構造モデルを作成し（図7）²⁸、その6種類の能力の内容を詳細に定義して、「情報活用の実践力尺度」を作成した（表4）²⁹。

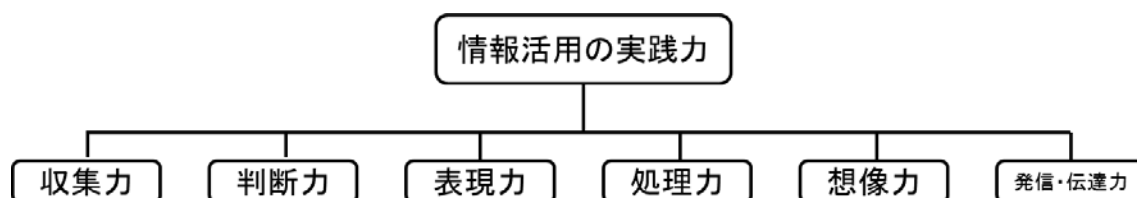


図7「情報活用の実践力」の構造

表4 情報活用の実践力尺度

概念	定義	項目
収集力	目的に応じて必要な情報をもれなく適切な手段で主体的に収集する能力	1 興味を持った事柄については、徹底的に情報を集める。 2 授業でわからないことがあっても、先生に質問したり、教科書や参考書でしらべることはほとんどない。 3 資料は自分で集めずに、友達からもらって済ますことのほうが多い。 4 わからない事柄があったら、辞書や辞典をひくようにしている。 5 新しい品物を購入するときは、まずカタログや雑誌を収集する。 6 自分から進んで調べものをすることは少ない。 7 話題になっている本や雑誌には、目を通すようにしている。 8 人から聞いて初めて知る話が多い。 9 新聞やテレビのニュースを、あまり見ないほうだ。 10 何でもひととおりに知っていたいという気持ちが、人一倍強い。
判断力	数多くある情報の中から必要なものを選択	11 * 人から聞いた話が本当かどうかを、後で確かめることはない。 12 * 人の噂をすぐ信じるほうだ。 13 * 新聞やテレビで言われていることを、すぐ信じるほうである。 14 テレビで知ったことを、後から本などで確認することがある。

	し、内容を判断し、適切な情報を引き出す能力	15 手に入れた情報が古くなっていないかどうか注意している. 16 対立する意見があるときはいつも, 両方の言い分を聞いてそれぞれの良し悪しを判断するようにしている. 17 噂を聞いたときには, それがどのくらい根拠があるかを確認している. 18 * たくさんの資料から必要な情報を見つけ出すのは苦手である.
表現力	情報表現の特性を理解し、伝えたい情報を適切な形式で表現する能力	19 調べたことを整理するとき, 文章だけでなく図や表も活用するよう心がけている. 20 * 集めた情報は, 整理しないでそのままにしておくことが多い. 21 たくさんの情報を集めたときは, 似た内容ごとに分類するようにしている. 22 文章を理解するために, 自分で図や表に書き直してみることがある. 23 * 集めた資料を整理するのは苦手である. 24 ノートがわかりやすいと言われる. 25 * 文章を読むとき, 重要なところに線を引くことはない. 26 * メモをとりながら文章を読むことはない.
処理力	収集した情報に適切な処理を加えて、必要な情報を読み取る能力	27 * 問題を解くとき, 筋道を立てて考えるよりは, 思いつきで結論を出すことが多い. 28 多くの資料を検討して, 結論を導くのは得意である. 29 意見がたくさんあっても, うまくまとめることができる. 30 長い文章でも, その要点はたいてい把握できる. 31 * 筆者が一番言いたいことを把握するのは苦手である. 32 * 多くの情報から, 共通点を見つけ出すのは苦手である. 33 図や表にまとめられた資料から, 共通点や一定の法則を見つけ出すことが得意である. 34 * 品物を選ぶとき, たくさんのカタログを見て比較検討することはない.
創造力	自分の考えや意見を持ち、情報を創造する能力	35 * 課題をやるとき, 人のまねをすることが多い. 36 物事を人とは違う観点から考えてみるほうである. 37 他の人の考えや意見を紹介するよりも, 自分の考えや意見を 発表することのほうが好きである. 38 * 人と違った意見を考えるのは苦手である. 39 * 人の意見に流されやすい方である. 40 * 新しいものや変わったものを作り出すのは苦手である. 41 他人と異なる意見を出すのが得意である.

		42 * ある解法で問題が解けたら、さらに良い解法を探そうとは思わない。 43 人よりも良いものを作るように心がけている。 44 自分なりの考えを持つようにしている。
発信・伝達力	受け手の立場や情報を処理する能力を意識して、情報を発信・伝達する能力	45 小さな子と話すときには、なるべく難しい言葉を使わないように気をつけている。 46 * 人と話すとき、相手が何を知りたがっているか考えないほうである。 47 相手の反応に気を配りながら話すほうである。 48 大勢の前で発表するときは、言うべきことを整理してから話すようにしている。 49 * 場所の説明は、図示せずに言葉だけで済ますことが多い。 50 友達に連絡をするときは、用件に応じて、手紙や電話、ファックスなどを使い分けている。 51 人に用件を伝えるときは、重要な部分に下線をひくなどして、相手が注目するように工夫している。 52 * わかりやすい文章を書くのは苦手である。 53 * 人前で発表するとき、何も考えずに話し出すことが多い。 54 * 自分の考えを人に説明するのが苦手だ。

*は逆転項目。

本研究では、図書館利用ガイダンスの目的と内容から、「情報活用の実践力尺度」のうち、①収集力および②判断力の二つの下位尺度を採用した調査と、これとは別にアンケート調査を実施することとした。

4.2.1 情報活用の実践力尺度

図書館利用ガイダンスにおける検索実習の実施が、学生の情報活用の実践力を伸ばすのか、本学1年次学生を対象とした準実験³⁰⁾により検討した。

本研究では、被調査者を実験群と統制群の2群に分け、各群図8の調査スケジュールに示す2時点で調査を実施し、各時点での情報活用の実践力を測定した。つまり、実験群では2時点の調査の間に検索実習を挟み、統制群では検索実習を挟まない2時点において調査を行うことによって、実験群と統制群の両群における得点差を比較することとした。準実験は、実験群と統制群の配置がランダムではない点で、実験とは異なっている。しかし、準実験には、現実場面における処遇の効果の有無を、統制群との比較により特定できるといった長所があり、社会的実験の有効な手法となっている。

【調査方法】 準実験

【被調査者】 本学の1年次学生

【調査内容】 高比良ら（1999）による「情報活用の実践力尺度」で示された①収集力および②判断力の下位尺度（合計18項目）を調査する質問について、7件法で回答を求めた。調査に用いた質問票は資料2に添付する。

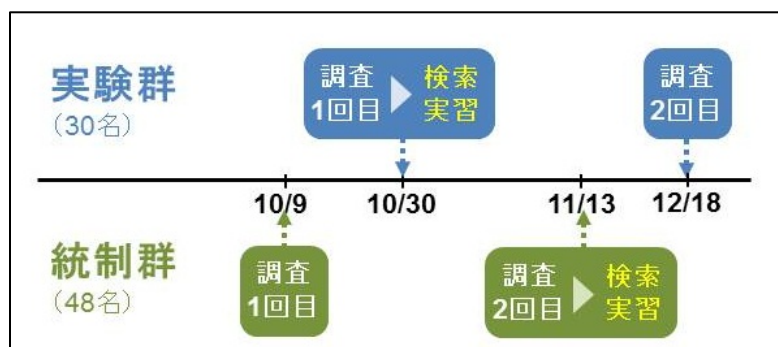


図8 情報活用の実践力調査のスケジュール

【分析方法および統計処理】

情報活用の実践力の得点が、検索実習の前後で有意差をもって伸びるかどうかを検討するため、2時点目から1時点目の得点差を実験群と統制群で比較した。なお、統計分析には対応のない t 検定（両群の母分散が等しい場合はスチューデントの t 検定、両群の母分散が等しくない場合はウェルチの t 検定）を用い、有意水準を両側5%未満とした。

4.2.2 アンケート

4.2.2.1 図書館利用ガイダンス（検索実習）アンケート

2012～2013年度に実施した図書館利用ガイダンス（検索実習）の受講生計825名に対してアンケートを行った。2012年度のアンケートの質問項目は図9に示す。なお、2013年度は、ジャパンナレッジを契約しなかったため、質問6は割愛した。

*1	【アンケート】 ①今日のガイダンスの内容について、いかがでしたか？ ☐ よくわかった ☐ 一応わかった ☐ 少しわかった ☐ わからなかった
*2	②この検索実習は他の授業でも利用するMoodleの講習も兼ねています。従来のような紙の配布をなるべくやめ、授業後でも学習できるMoodleをつかったこのような検索実習について、皆さんの感想を聞かせてください。 ☐ 今回のようなやり方は授業の時だけでなく、後からも学習できるので良いと思う ☐ まさ総じて良かったと思う ☐ Moodleを使わず、紙を配布して説明する授業の方がよい ☐ その他の意見（上記以外のご意見の方は最後尾8にご意見を書き入れてください）
*3	③今までiPadなどのタブレット端末やスマートフォンを使ったことがありますか？ ☐ iPadなどのタブレット端末を自分で持っている ☐ スマートフォンは持っているが、iPadなどのタブレット端末を使ったことはない ☐ iPadなどのタブレット端末、スマートフォンを使ったことがない ☐ 図書館のiPadを使ったことがある
*4	④今回使用したデータベースなどについてお聞きします。 A 開蔵IIの利用について ☐ 検索実習のあとも利用したい ☐ 使うかもしれない ☐ 使わない
*5	B 日経BPの利用について ☐ 検索実習のあとも利用したい ☐ 使うかもしれない ☐ 使わない
*6	C ジャパンナレッジの利用について ☐ 検索実習のあとも利用したい ☐ 使うかもしれない ☐ 使わない
*7	D 今回の検索実習は、出典が確実な上記のようなデータベースや専門家が書いた冊子体を使ってもらいたいという意図があります。今後レポートを書く時や就職活動等に参考にするものについて、今回の検索実習後の皆さんの意識についてお尋ねします。 ☐ 検索実習以前から自分は確実な資料しか使っていない ☐ 今回検索実習を受けて、内容が確実な資料を利用したいと思った ☐ 今回検索実習を受けて、冊子体や今回使ったようなデータベースとWikiなどWeb上にあるものと併用したいと思った ☐ 今回の検索実習を受けても、内容にかかわらずWeb上のどんな情報でも手に入るものなら良いと思った ☐ 上記以外の感想があれば（最後尾14の欄に感想を書き入れてください）
*8	⑤アンケートや検索実習についての感想や図書館への要望（図書館の資料について、設備（PCやソフトなど）、展示、講習会やイベントについて）など、なんでもご記入ください。 ※なお、上記設問に対し、なんらかの回答を入力しないと送信できないようになっていますので、すべてご記入ください。 ※「保存する」では提出になりません。 提出するときは「アンケートを送信する」を押してください。

図9 図書館利用ガイダンス（検索実習）アンケート質問項目（2012年度）

4.2.2.2 Moodle等のICTツールを利用した学習に関するアンケート

2013年10月18日、2013年10月21日、2013年11月6日に図書館利用ガイダンス以外の授業内でMoodle等のICTツールを利用した学習に関するアンケートを行った（回答119人）。アンケートの質問項目は資料3に添付する。

5 結果と考察

5.1 情報活用の実践力尺度

情報活用の実践力調査の被調査者のうち、両時点の調査結果が得られた学生のみを本調査の評価対象とした。この結果、評価対象数は実験群30名、統制群48名であった。

収集力および判断力の下位尺度と、2つの下位尺度合計得点について、2時点目から1時点目の得点差を実験群と統制群で比較した結果を表5～表7に示す。

表5 収集力についての前後の得点差

	得点差の 平均値	不偏分散	標準偏差	標準誤差	
実験群 (n=30)	0.80	60.79	7.80	1.42	
統制群 (n=48)	-0.06	53.76	7.33	1.06	
	平均値の差	自由度	<i>t</i> 値	<i>p</i> 値 (両側確率)	<i>t</i> (0.975)
実験群、 統制群	0.86	76.00	0.49	0.62	1.99

表6 判断力についての前後の得点差

	得点差の 平均値	不偏分散	標準偏差	標準誤差	
実験群 (n=30)	-0.87	51.43	7.17	1.31	
統制群 (n=48)	-0.65	24.87	4.99	0.72	
	平均値の差	自由度	<i>t</i> 値	<i>p</i> 値 (両側確率)	<i>t</i> (0.975)
実験群、 統制群	-0.22	46.56	-0.15	0.88	2.01

表7 収集力と判断力の合計についての前後の得点差

	得点差の 平均値	不偏分散	標準偏差	標準誤差
実験群 (n=30)	-0.07	163.79	12.80	2.34

統制群 (n=48)	-0.71	87.02	9.33	1.35	
	平均値の差	自由度	t値	p値 (両側確率)	t(0.975)
実験群、 統制群	0.64	76.00	0.26	0.80	1.99

まず、収集力についての前後の得点差について分析したところ、実験群の平均値は0.80（標準偏差7.80）、統制群の平均値は-0.06（標準偏差7.33）であり、統計処理の結果、両群間の得点差に有意差が認められなかった（ $p=0.62$ ）（表5）。つまり、図書館利用ガイダンスによって、情報活用の実践力（収集力）が伸びるとは言えない結果であった。

また、判断力についての前後の得点差についても分析したところ、実験群の平均値は-0.87（標準偏差7.17）、統制群で-0.65（標準偏差4.99）であり、こちらも両群間の得点差に有意差が認められなかった（ $p=0.88$ ）（表6）。

さらに、収集力と判断力の合計についての前後の得点差についても同様の結果がみられ、実験群の平均値は-0.07（標準偏差12.80）、統制群で-0.71（標準偏差9.33）であり、両群間の得点差に有意差が認められなかった（ $p=0.80$ ）（表7）。

以上の分析結果より、今回のガイダンスが、学生の「情報活用の実践力」に影響を与えたということは示されなかった。その理由は、以下の理由が考えられる。まず、収集力と判断力のような本質的能力は短期間では得点に表れるほどすぐに向上するものではないためと思われる。また、元々ガイダンスの内容は「情報活用の実践力」に即して構成している訳ではなく、著作権についての説明等、①収集力および②判断力の二つの下位尺度に直接影響を与えないと思われる内容も含まれている。今後、①収集力および②判断力を伸ばすことをガイダンスの目標とするならば、それらに即してガイダンス内容を改善する必要がある。

5.2 アンケート集計結果

5.2.1 図書館利用ガイダンス（検索実習）アンケート集計結果

表8～表9は、2012～2013年度に実施した図書館利用ガイダンス（検索実習）アンケートについて、選択肢部分の集計である。

検索実習を受けて、内容が確実な資料を利用したいと思った学生は、3割以上いることがわかる。

また、アンケートの自由記述欄を4つのグループに分類した結果を表10に示す。自由記述の回答の本文は資料4に添付した。

表8 2013年度図書館利用ガイダンス（検索実習）アンケート集計

	CA (コンピュータ 応用学科) 5/15 (水) 回答: 55	CA (コンピュータ 応用学科) 5/22 (水) 回答: 57	CD (コンピュータ デザイン学科) 7/10 (水) 回答: 28	E (電気電子工学 科) 7/17 (水) 回答: 28	H (人間環境学 科) 6/19 (水) 回答: 38	I② (情報工学 科) 7/3 (水) 回答: 53	I (情報工学科) 6/26 (水) 回答: 57	M (機械工学科) 10/30 (水) 回答: 47	M (機械工学科) 11/13 (水) 回答: 48	平均
質問1 今日のガイダンスの内容について、いかがでしたか？										
よくわかった	20%	25%	25%	20%	21%	26%	26%	19%	42%	25.6%
一応わかった	62%	65%	46%	52%	50%	47%	60%	49%	42%	49.4%
少しわかった	18%	5%	21%	27%	24%	23%	11%	15%	6%	18.1%
わからなかった	0%	5%	7%	2%	5%	4%	4%	17%	10%	6.0%
合計	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	
質問2 この検索実習は他の授業でも利用するMoodleの講習も兼ねています。従来のような紙の配布をなるべくやめ、授業後でも学習できるMoodleをつかったこのような検索実習について、皆さんの感想を聞かせてください。										
今回のようなやり方は授業の時だけでなく、後からも学習できるので良いと思う	36%	39%	21%	25%	37%	36%	32%	28%	25%	31.0%
まあ総じて良かったと思う	58%	46%	57%	61%	50%	60%	58%	47%	56%	54.8%
Moodleを使わず、紙を配布して説明する授業の方がよい	5%	14%	14%	14%	13%	4%	11%	26%	15%	12.9%
その他の意見（上記以外のご意見の方は最後尾7にご意見を書き入れてください）	0%	2%	7%	0%	0%	0%	0%	0%	4%	1.4%
合計	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	
質問3 今までiPadなどのタブレット端末やスマートフォンを使ったことがありますか？										
iPadなどのタブレット端末を自分で持っている	29%	28%	32%	11%	21%	28%	19%	23%	25%	24.0%
スマートフォンは持っているが、iPadなどのタブレット端末を使ったことはない	44%	56%	36%	66%	61%	58%	60%	62%	56%	55.4%
iPadなどのタブレット端末、スマートフォンを使ったことがない	27%	14%	25%	20%	13%	11%	16%	6%	12%	16.0%
図書館のiPadを使ったことがある	0%	2%	7%	4%	5%	2%	5%	9%	6%	4.4%
合計	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	
質問4 今回使用したデータベースなどについてお聞きます。開蔵IIの利用について										
検索実習のあとにも利用したい	25%	7%	7%	14%	29%	9%	7%	15%	17%	14.4%
使うかもしれない	71%	86%	79%	79%	55%	74%	77%	53%	48%	69.1%
使わない	4%	7%	14%	7%	16%	17%	16%	32%	35%	16.4%
合計	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	
質問5 今回使用したデータベースなどについてお聞きます。日経BPの利用について										
検索実習のあとにも利用したい	18%	9%	7%	23%	21%	9%	11%	15%	17%	14.4%
使うかもしれない	78%	81%	75%	68%	63%	74%	72%	53%	40%	67.1%
使わない	4%	11%	18%	9%	16%	17%	18%	32%	44%	18.8%
合計	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	
質問6 今回の検索実習は、出典が確実な上記のようなデータベースや専門家が書いた冊子体を使ってもらいたいという意図があります。今後レポートを書く時や就職活動等に参考にするものについて、今回の検索実習後の皆さんの意識についてお尋ねします。										
検索実習以前から自分は確実な資料しか使っていない	5%	4%	7%	14%	3%	15%	9%	17%	19%	10.3%
今回検索実習を受けて、内容が確実な資料を利用したいと思った	36%	28%	39%	32%	37%	36%	44%	21%	33%	34.0%
今回検索実習を受けて、冊子体や今回使ったようなデータベースとWikiなどWebにあるものと併用したいと思った	49%	49%	39%	41%	42%	32%	33%	36%	27%	38.7%
今回の検索実習を受けても、内容にかかわらずWeb上のどんな情報でも手に入るものなら良いと思った	9%	19%	14%	12%	18%	17%	14%	26%	17%	16.2%
上記以外の感想があれば（最後尾の欄に感想を書き入れてください）	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	4%	0.4%
合計	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	

表9 2012年度図書館利用ガイダンス（検索実習）アンケート集計

	I（情報工学科）& H（人間環境学科） 回答：142	M（機械工学科）& E（電気電子工学科） 回答：130	平均
質問1 今日のガイダンスの内容について、いかがでしたか？			
よくわかった	23%	18%	20.5%
一応わかった	51%	39%	45.0%
少しわかった	15%	23%	19.0%
わからなかった	12%	19%	15.5%
合計	100%	100%	
質問2 この検索実習は他の授業でも利用するMoodleの講習も兼ねています。従来のような紙の配布をなるべくやめ、授業後でも学習できるMoodleをつかったこのような検索実習について、皆さんの感想を聞かせてください。			
今回のようなやり方は授業の時だけでなく、後からも学習できるので良いと思う	33%	21%	27.0%
まあ総じて良かったと思う	46%	45%	45.5%
Moodleを使わず、紙を配布して説明する授業の方がよい	16%	30%	23.0%
その他の意見（上記以外のご意見の方は最後尾8にご意見を書き入れてください）	4%	4%	4.0%
合計	100%	100%	
質問3 今までiPadなどのタブレット端末やスマートフォンを使ったことがありますか？			
iPadなどのタブレット端末を自分で持っている	15%	12%	13.5%
スマートフォンは持っているが、iPadなどのタブレット端末を使ったことはない	38%	48%	43.0%
iPadなどのタブレット端末、スマートフォンを使ったことがない	40%	38%	39.0%
図書館のiPadを使ったことがある	6%	3%	6.0%
合計	100%	100%	
質問4 今回使用したデータベースなどについてお聞きします。開蔵IIの利用について			
検索実習のあとにも利用したい	13%	13%	13.0%
使うかもしれない	62%	62%	62.0%
使わない	25%	25%	25.0%
合計	100%	100%	
質問5 今回使用したデータベースなどについてお聞きします。日経BPの利用について			
検索実習のあとにも利用したい	15%	13%	14.0%
使うかもしれない	61%	64%	61.0%
使わない	25%	23%	25.0%
合計	100%	100%	
質問6 今回使用したデータベースなどについてお聞きします。ジャパンナレッジの利用について			
検索実習のあとにも利用したい	17%	17%	17.0%
使うかもしれない	59%	62%	62.0%
使わない	24%	22%	22.0%
合計	100%	100%	
質問7 今回の検索実習は、出典が確実な上記のようなデータベースや専門家が書いた冊子体を使ってもらいたいという意図があります。今後レポートを書く時や就職活動等に参考にするものについて、今回の検索実習後の皆さんの意識についてお尋ねします。			
検索実習以前から自分は確実な資料しか使っていない	11%	12%	12.0%
今回検索実習を受けて、内容が確実な資料を利用したいと思った	35%	37%	37.0%
今回検索実習を受けて、冊子体や今回使ったようなデータベースとWikiなどWeb上にあるものと併用したいと思った	38%	32%	32.0%
今回の検索実習を受けても、内容にかかわらずWeb上のどんな情報でも手に入るものなら良いと思った	16%	20%	20.0%
上記以外の感想があれば（最後尾14の欄に感想を書き入れてください）	1%	0%	0.0%
合計	100%	100%	

表10 図書館利用ガイダンス（検索実習）アンケート自由記述集計（単位：人）

	2012年度	2013年度	計
A. 実習に対する肯定的な意見	136	213	358
B. 実習に対する否定的な意見や改善を求める意見	99	47	142
C. 図書館施設に対する要望や感想	61	84	145
D. その他	100	85	180
計	396	429	825

5.2.2 Moodle等のICTツールを利用した学習に関するアンケート集計結果

図10は、タブレット端末の利用状況について集計した結果である。タブレット端末を利用したことのある回答者は、8割以上いるが、所有者は2割弱に留まっている。

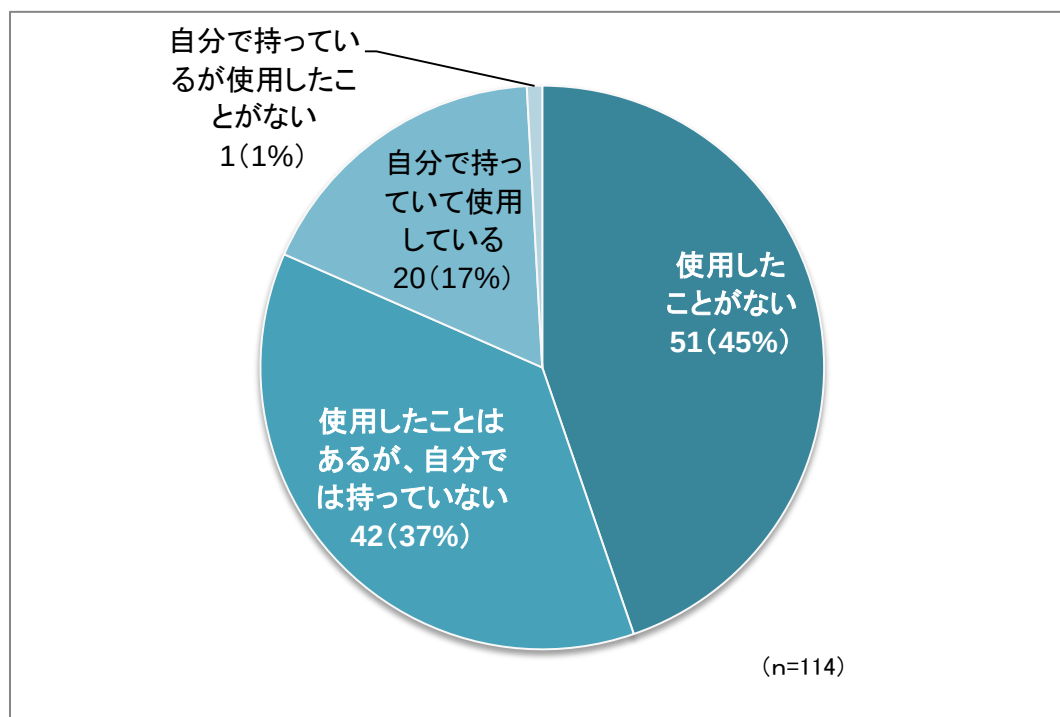


図10 タブレット端末の利用状況（単位：人）

図11は、タブレット端末を使用したことがない、と答えた回答者にタブレット端末に興味・関心があるかを尋ねた結果を集計したものである。タブレット端末に興味・関心がある回答者は4割程度、関心がない回答者は5割を超えている。

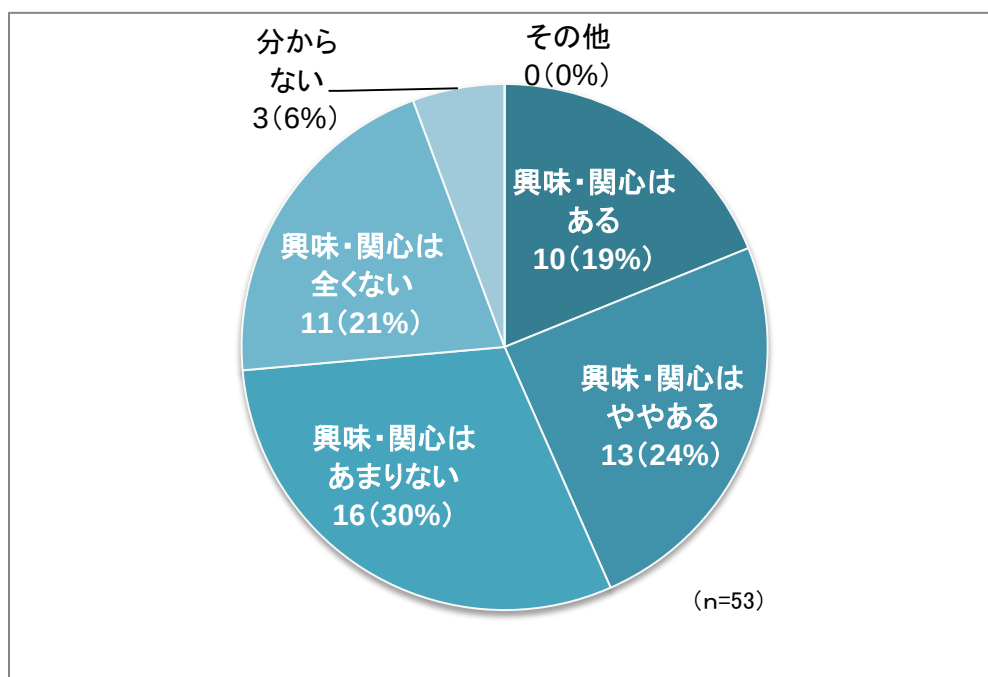


図11 タブレット端末への興味・関心 (単位：人)

図12は、タブレット端末を使用したことがない、または、使用したことはあるが自分では持っていない、と答えた回答者に、タブレット端末を購入したいかを尋ねた質問の回答を集計したものである。購入を希望している回答者は5割を超えている。

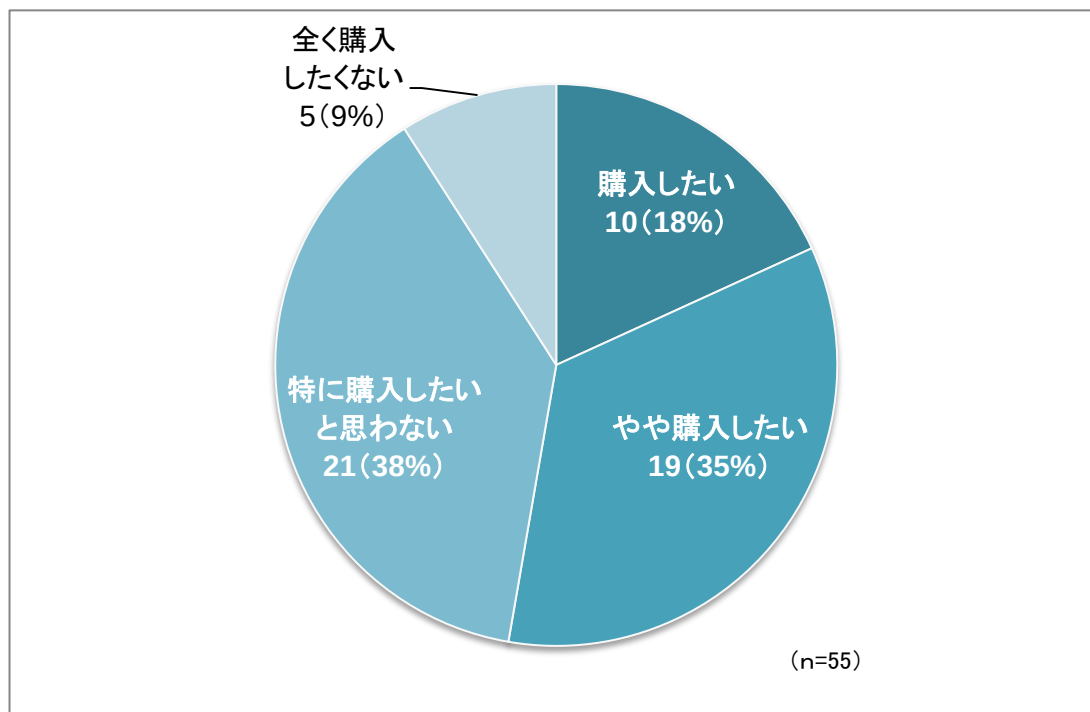


図12 タブレット端末の購入意欲（単位：人）

図13は、所有しているタブレット端末の種類の回答を集計したものである。iPad等のiOSとAndroid系が半数近くを占めている。

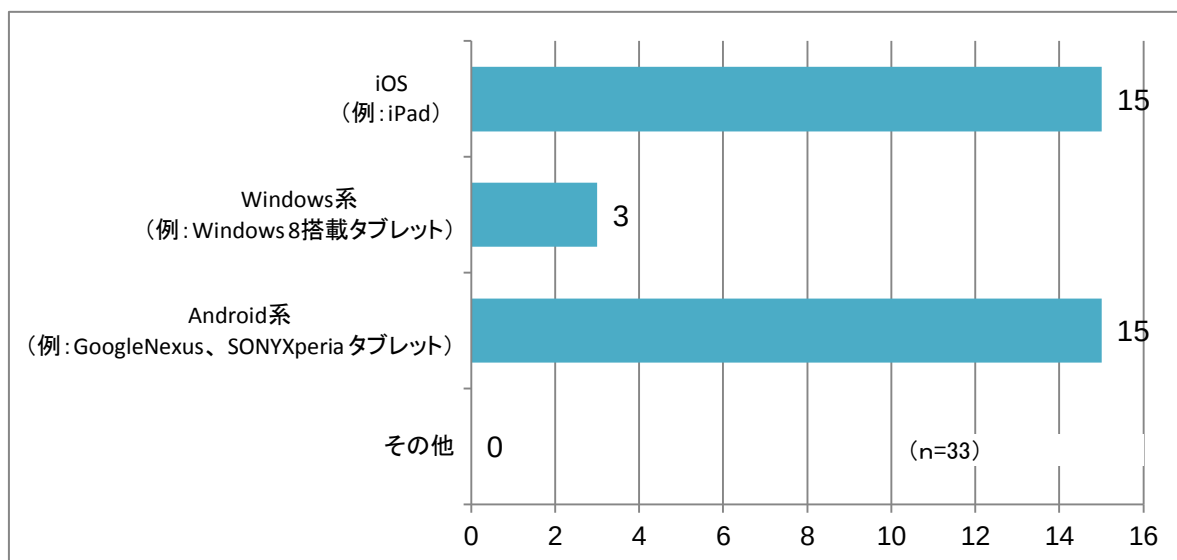


図13 所有しているタブレット端末の種類 (単位：人)

図14は、学期中の登校日に実際に大学に滞在している1日のおおよその時間の回答を集計したものである。平均滞在時間は5時間50分であったが、9時間以上滞在している回答者が約1割いた。

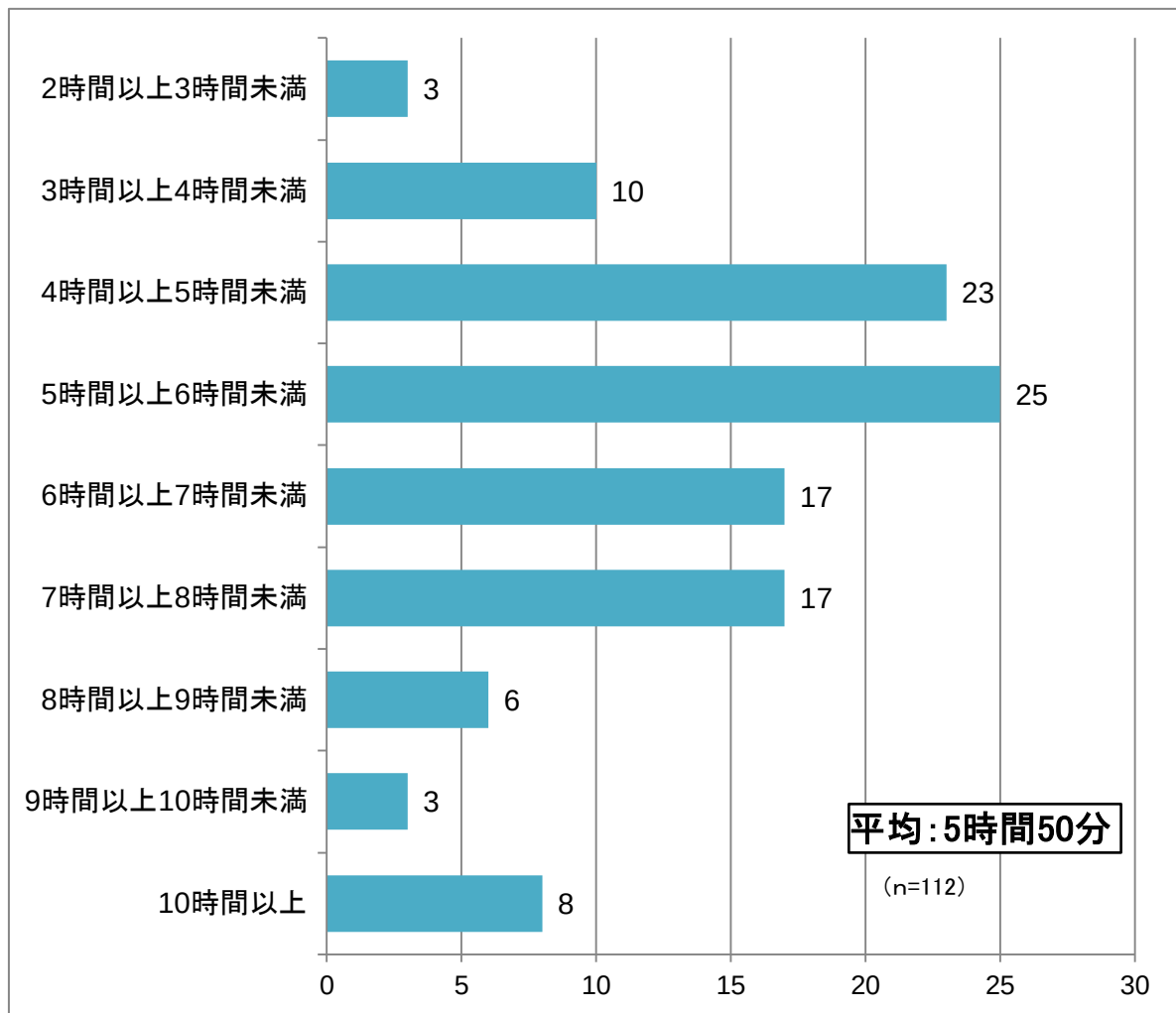


図14 大学滞在時間 (単位: 人)

図15は、大学内でどこの端末を利用しているかの回答を場所別に集計したもの、表11は各端末の平均利用時間（分）を集計したものである。

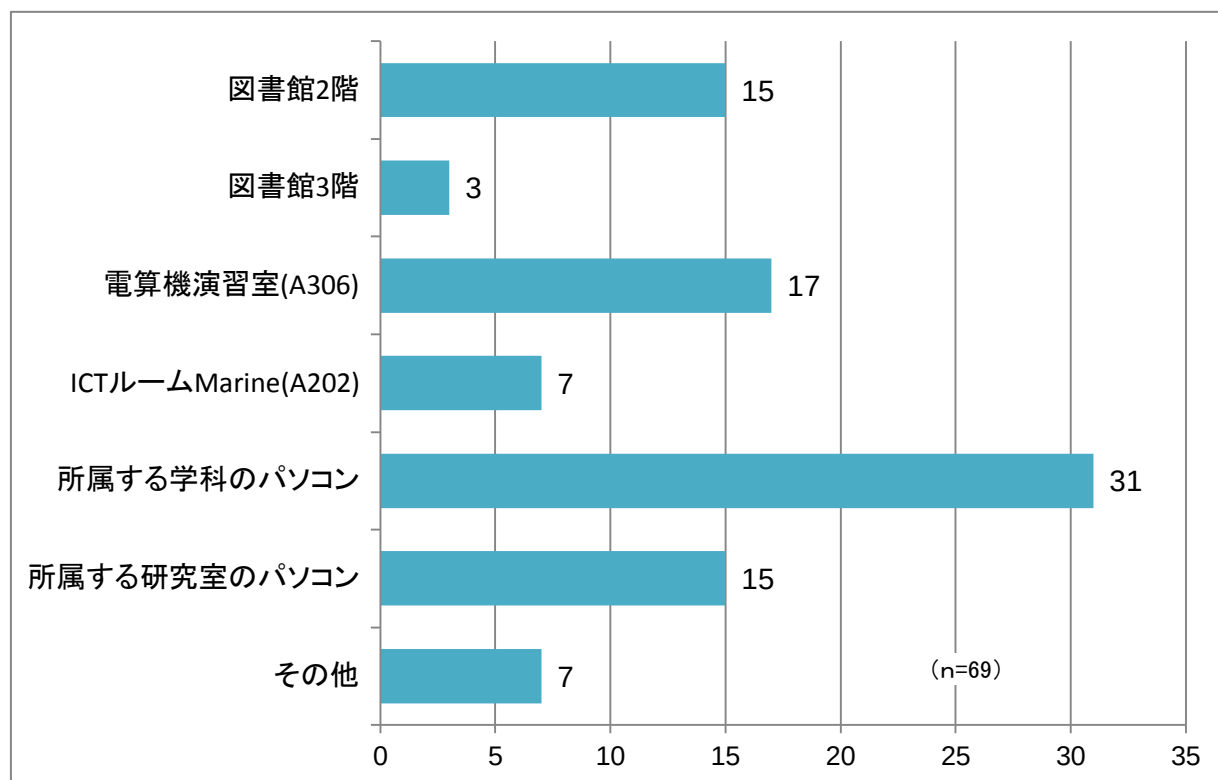


図15 学内で利用している端末（場所別）（単位：人）

表11 各端末（場所）の1日の平均利用時間（単位：分）

図書館2階	図書館3階	電算機演習室 (A306)	ICTルーム Marine (A202)	所属する学科 のパソコン	所属する研究 室のパソコン	その他
52.3	26.7	66.6	62.6	93.9	70.0	85.7

図16は、大学で勉強するにあたり、どういう問題を感じているかの回答を集計したものである。

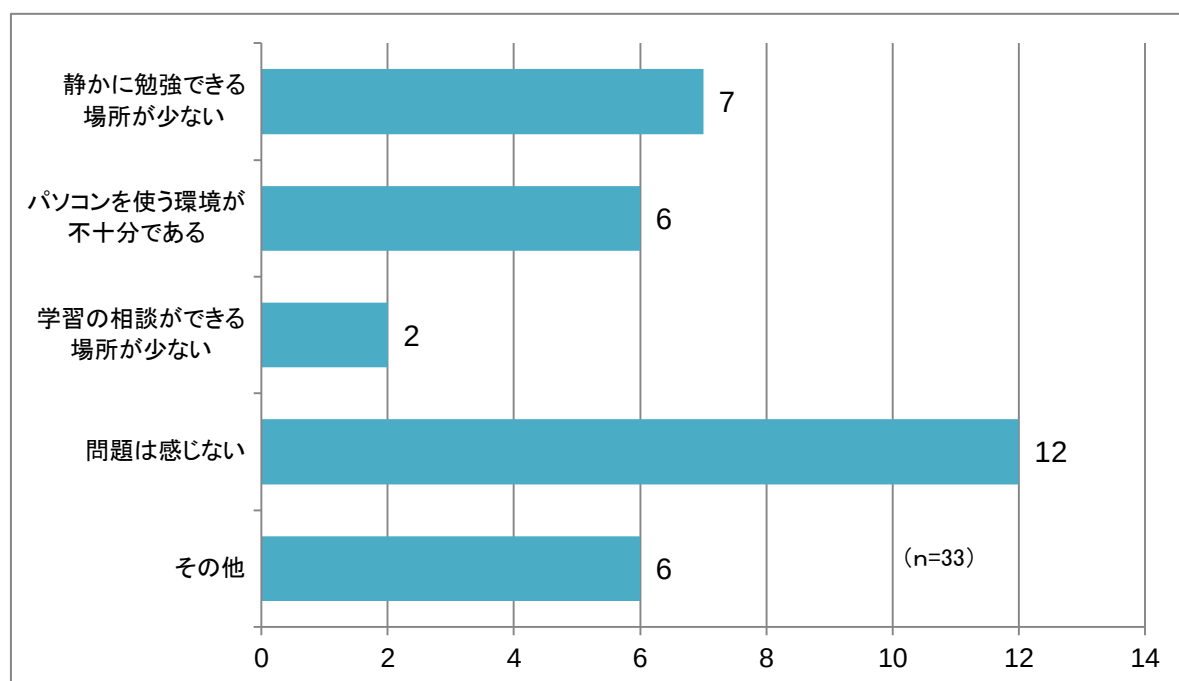


図16 大学における学習時の問題点 (単位：人)

図17は、大学のパソコン環境への問題点についての回答を集計したものである。

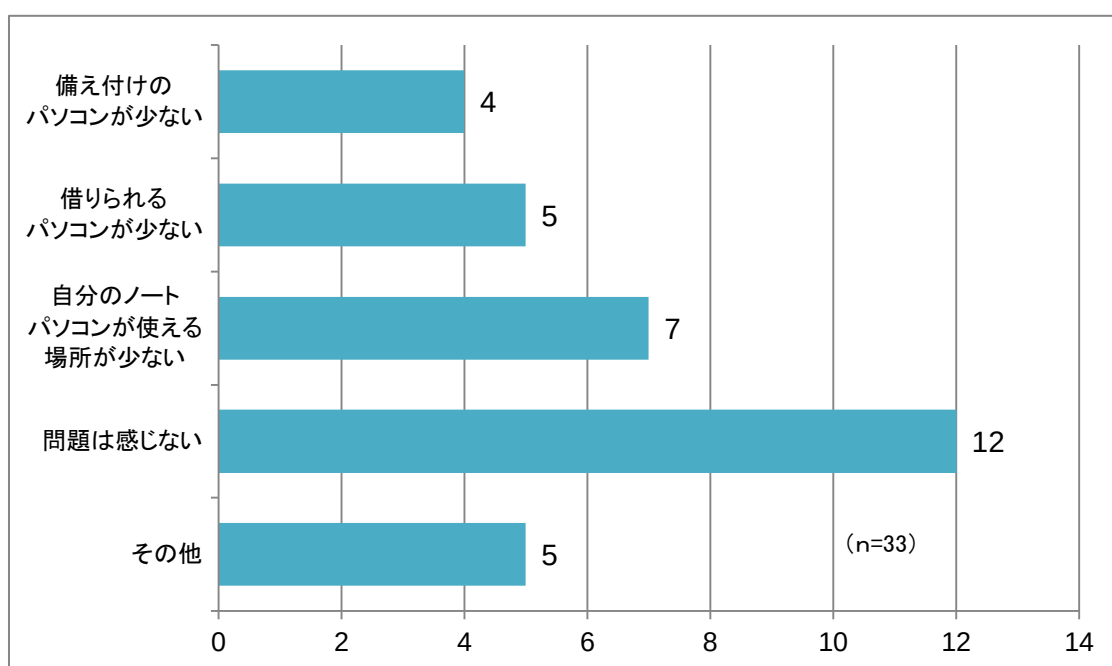


図17 大学のパソコン環境への問題点（単位：人）

図18は、調べものをするとき、どのような方法を用いるかについての回答をまとめたものである。

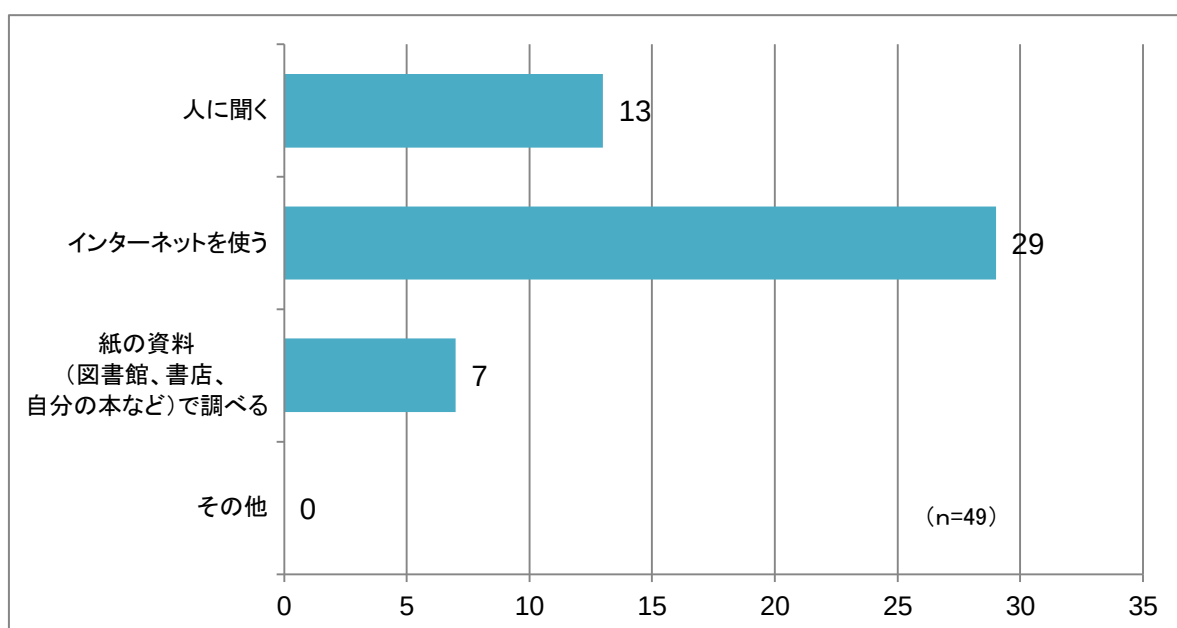


図18 調べものをする際の方法（単位：人）

図19は、Moodleの利用目的についての回答を集計したものである。出席登録が約3割と多いが、復習でも約2割利用されている。

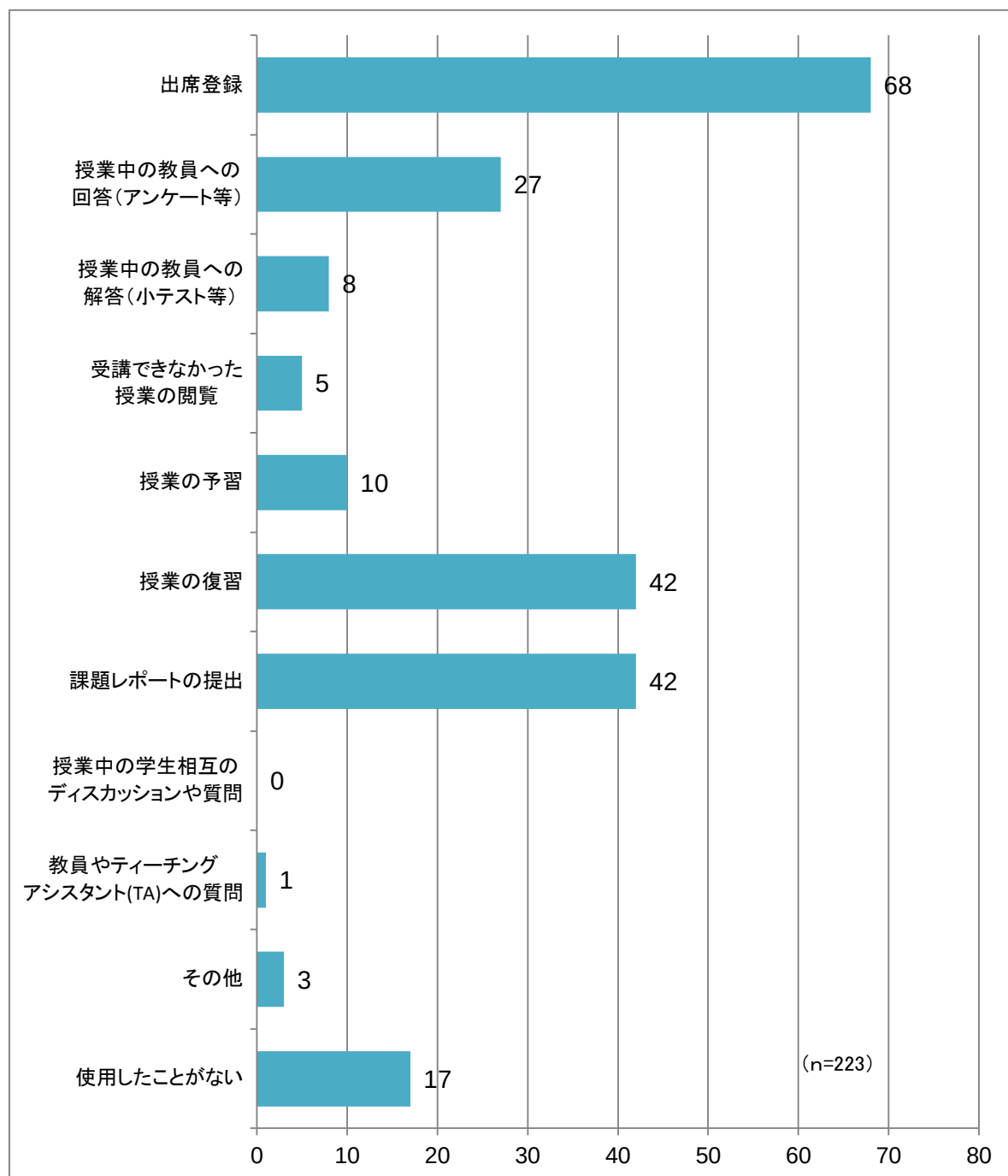


図19 Moodleの利用目的 (単位：人)

図20は、Moodleを利用して、自分の学習に役立っていると思う点についての回答を集計したものである。

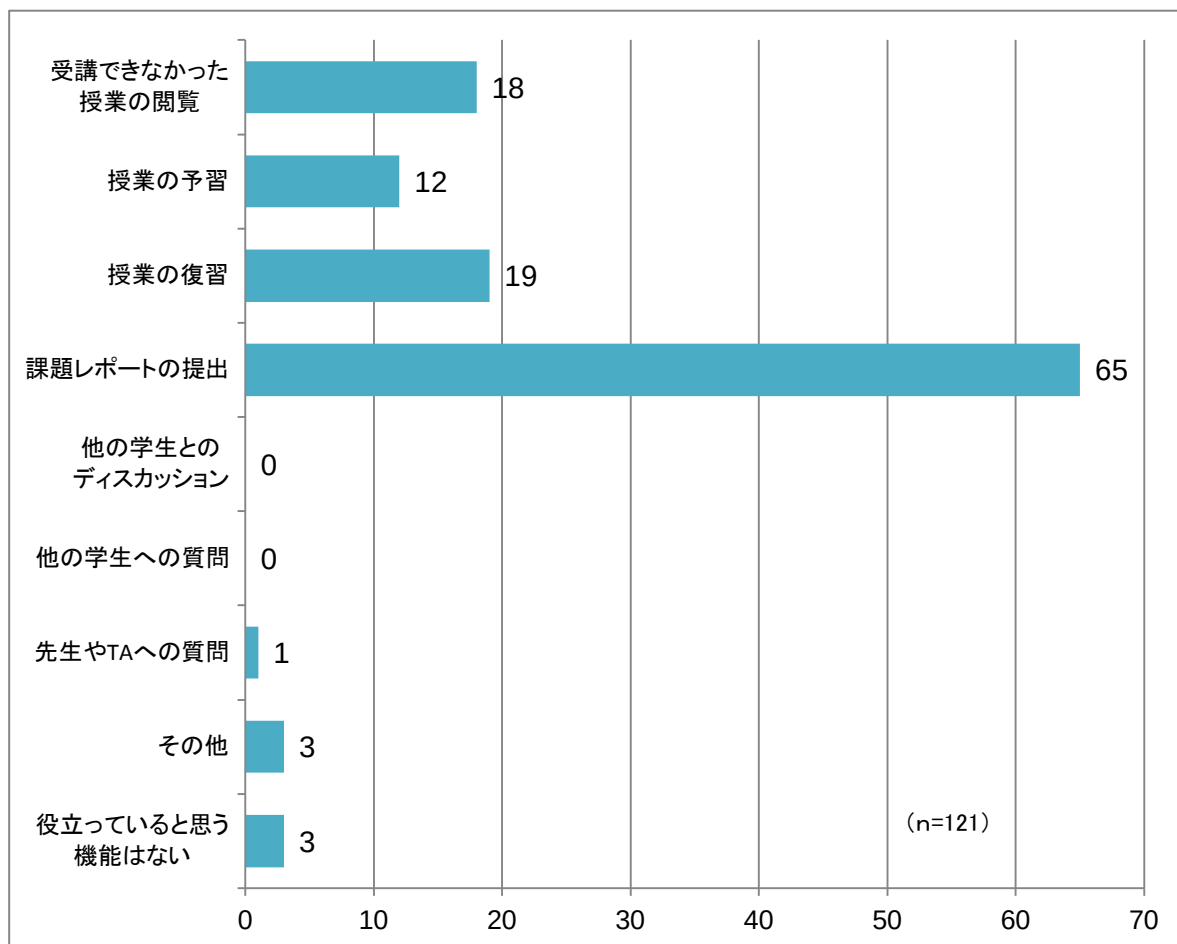


図20 Moodleが自分の学習に役立っていると思う点（単位：人）

図21は、Moodleの使いづらい点についての回答を集計したものである。

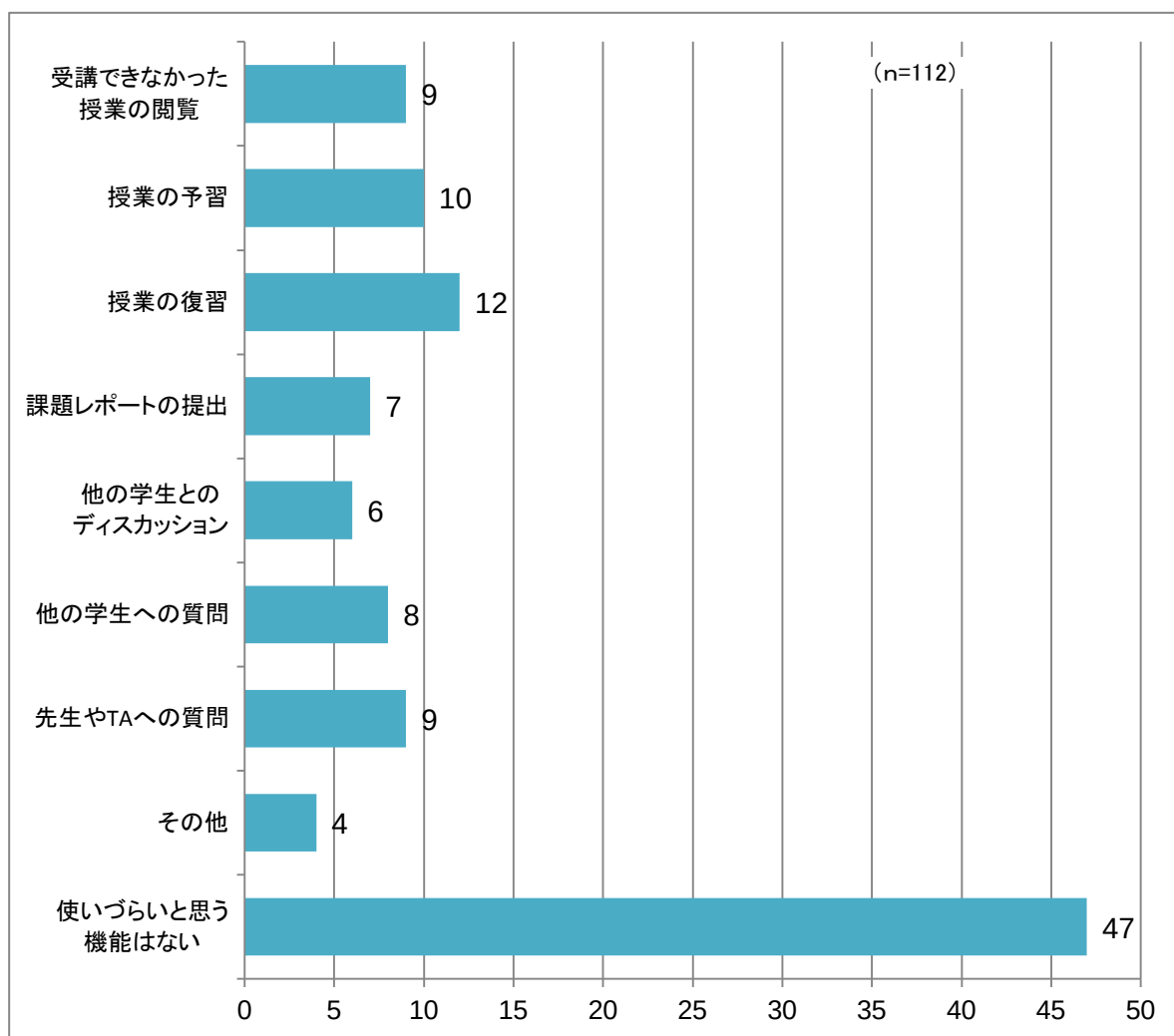


図21 Moodleの使いづらい点 (単位：人)

図22は、学期中の登校日の場所・端末種別の1日のMoodleの平均利用時間を場所別に集計したもの、表12は各端末の平均利用時間（分）を集計したものである。

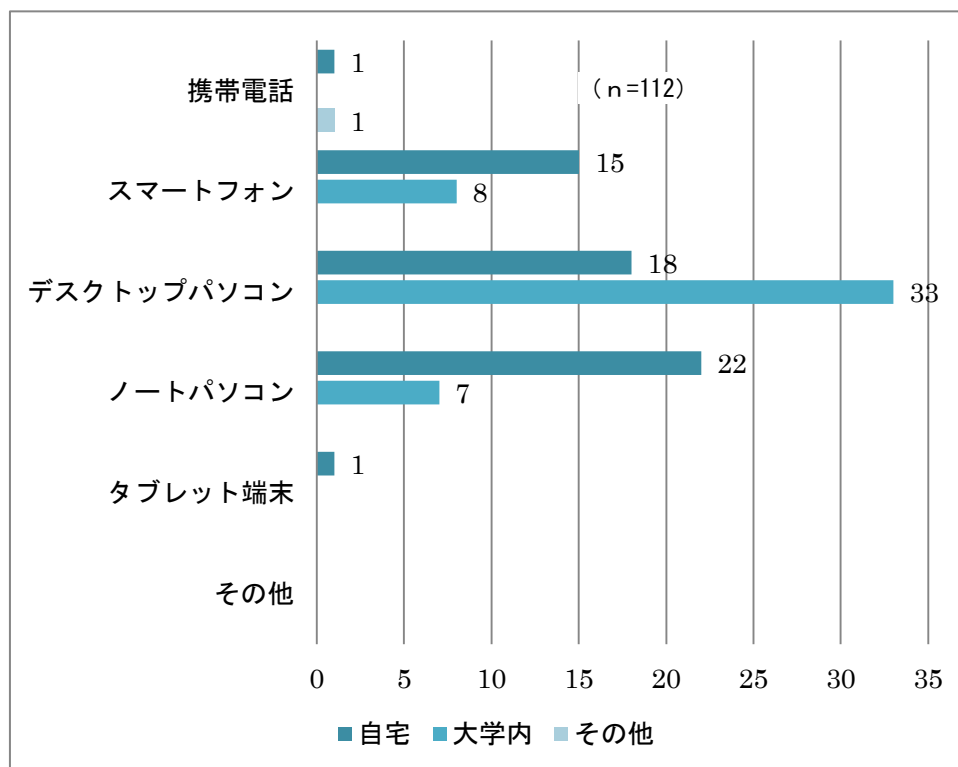


図22 場所・端末種別の1日のMoodleの平均利用時間（場所別）（単位：人）

表12 端末種別の1日のMoodleの平均利用時間（単位：分）

携帯電話	スマートフォン	デスクトップパソコン	ノートパソコン	タブレット端末	その他
17.5	36.7	51.5	44.6	30.0	0.0

図23は、Moodleについて、どのように思っているかを集計したもので、約5割の回答者が、Moodleが自分の学習に役立っているので、今後も利用したいと考えている。

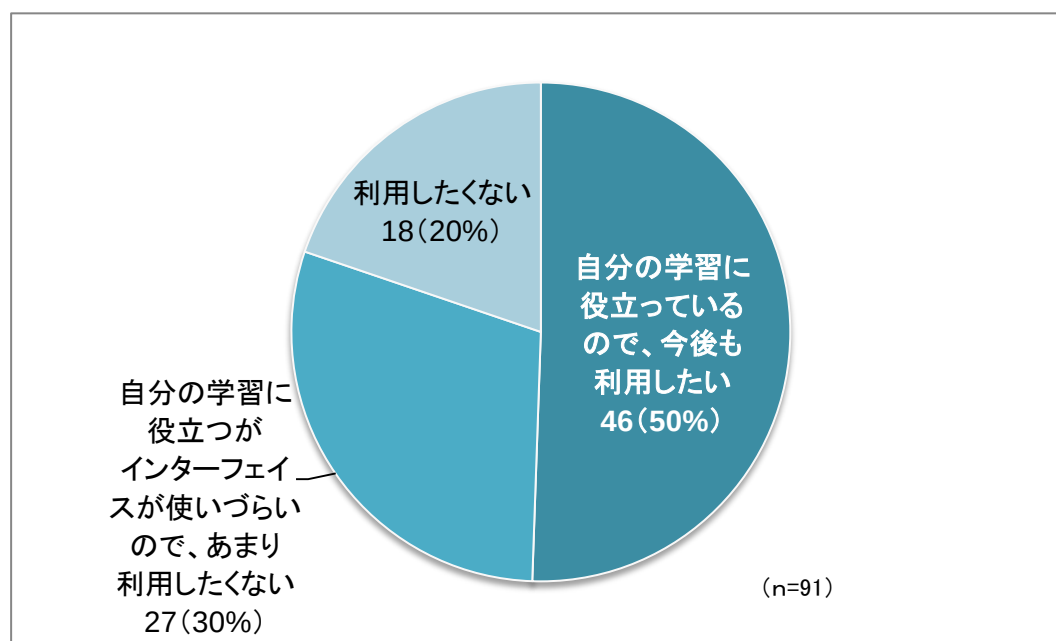


図23 Moodleについてどのように思っているか（単位：人）

図24は、Moodleの使いやすさ全般について、どのように思っているかを集計したものである。

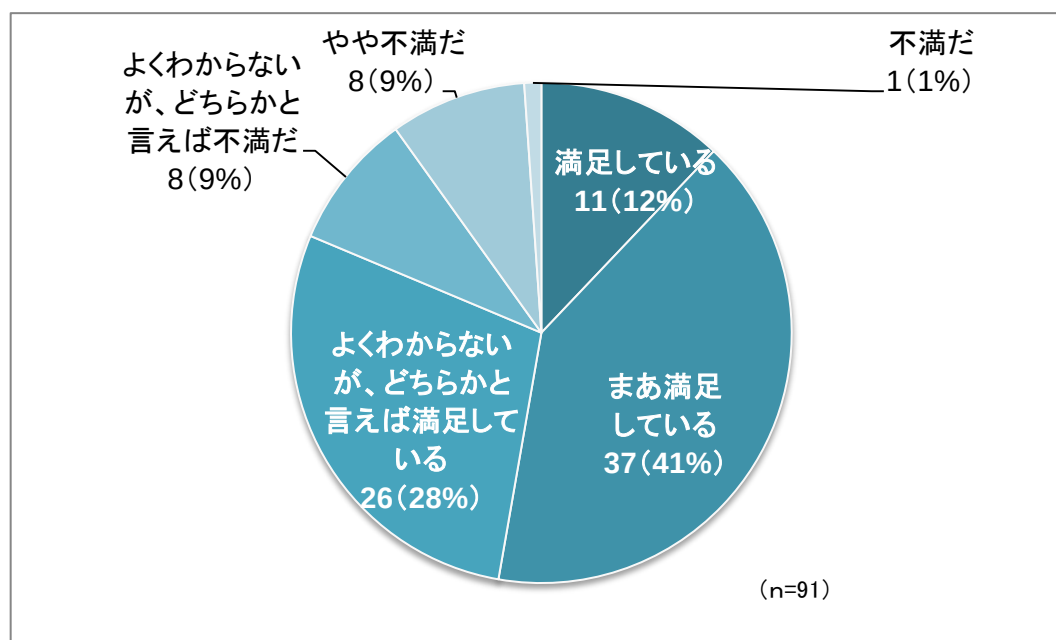


図24 Moodleの使いやすさ全般について（単位：人）

本研究の目的である、学生がどのようにICTツールを活用しているかについて、図22からは、4割程度の学生が大学外でMoodleを使い、図19からは授業の復習に活用している姿が窺える。図23、図24からは半数以上の学生が、Moodleに関して満足していることが分かる。一方、インターフェイスについては3割の学生が不満を感じている（図23）。資料3の問16の使いづらいと思う点についての自由記述では、「細かい機能が多い」、「割と見づらい」、「Androidからの観覧時、一部デザインに不満を感じる」という意見があった。タブレット端末の普及がまだ進んでいないため（図10、図11、図22、表8、表9）、利用の多いデスクトップパソコン・ノートパソコンとスマートフォンへの2種類の端末へのインターフェイス最適化を図るという方向も考えられる。しかしながら、タブレット端末は、一般社会においては徐々に普及が進み、使用する人も増加してきている調査もあることから、いずれは学校教育においてもタブレット端末が活用されるようになることが予想される³¹。本学生においても、タブレット端末を使用していない、または、使用したことはあるが自分では持っていない回答者の5割以上が購入を希望していることがわかった

（図12）。加えてタブレット端末は、自宅や外出先等の大学外でも比較的簡単に利用できるという利点がある。今後、学生のMoodleの活用頻度を向上させるためには、現状で利用の多いデスクトップパソコン・ノートパソコンとスマートフォンへの2種類の端末に加え、タブレット端末も視野に入れた上で、Moodleのインターフェイスの最適化を図ることが求められる。

また、本研究では、本学生側からの活用に焦点をあてたが、職員側からみたMoodleの利点もある。紙媒体での資料・アンケートの作成、回収、集計の手間が省け、一度作成したコースを翌年にデータを移行してそのまま利用できる等の職員の負担を軽減することができるという点である。それに加え、ガイダンス中は、学生の進行状況を常に把握できるので、遅れをとっている学生のサポートに回ることも可能で、教員への課題未提出者リスト提出も簡単に行える。さらに、クイズや課題の正解率が分かるので、設問の改善に活用することもできる。

本研究のもう一つの目的である、Moodle等を利用した学習支援活動の評価について、情報活用の実践力への影響は見られなかったが、Moodleを使わない授業の方がいいと答えた学生は、2012年度の23%から2013年度は12.9%に減っている（表8、表9）。図書館利用ガイダンス（検索実習）に関する肯定的な意見も136件（2012年度）から、213件（2013年度）に増え、実習に対する否定的な意見や改善を求める意見は99件（2012年度）から、47件（2013年度）に減っている（表10）。この理由としては、2012年度から2013年度にかけての、配色のシンプル化等の簡易な点ではあるが、Moodleのデザイン変更や、講師担当の図書館職員のガイダンス進行に関するスキルアップ等が考えられる。しかし、Moodleや図書館ガイダンスに対する否定的な意見や改善を求める意見が少ないとはいえないので、そこから見える課題も残っている。今後、より多くの学生が、学習においてMoodleを満足し

て活用できるようにするためには、機能やデザイン等のさらなる改善を図らなければならない。それにより、Moodle等のICTツールを利用した学習支援活動が、学生の情報活用の実践力向上へ貢献できると考えられる。

6 おわりに

今後の課題としては、大学図書館での学生に対する学習支援活動を新たな手法で向上させること、つまり、Moodleやタブレット型端末等の新たなICTツールを活用することによって、対象を「学生」という大きな枠組みで捉えるのではなく、学生一人ひとりの能力や要望に合わせることができる方法を検討していきたい。また、「新たな未来を築くための大学教育の質的転換に向けて（答申）」（2012）でも触れられているように、大学図書館は資料の提供だけでなく、学生の主体的な学習のベースとならなければならない³²。今後は、内容、設備等、問題点を洗い出し、図書館だからこそできる、学生の学びの質を向上させるための教育支援を推進する。

注

1. 大学設置基準において、大学での学びは「学修」としているが、本報告書では研究助成申込時の研究テーマで使用した「学習支援」と表記する。中央教育審議会. 新たな未来を築くための大学教育の質的転換に向けて（答申）. 2012, p. 2, http://www.mext.go.jp/component/b_menu/shingi/toushin/__icsFiles/afieldfile/2012/10/04/1325048_1.pdf, (参照 2014-03-07) を参照。なお、参照文献の表題や引用部分等で「学修」を使用しているものに関しては、そのまま表記する。
2. 科学技術・学術審議会 学術分科会 学術情報委員会. 学修環境充実のための学術情報基盤の整備について（審議まとめ）. 2013, http://www.mext.go.jp/component/b_menu/shingi/toushin/__icsFiles/afieldfile/2013/08/21/1338889_1.pdf, (参照 2014-01-24) を参照。
3. 大学蔵書、私が選ぶ 学生「ブックハンティング」各地で 図書館離れ歯止めに. 朝日新聞. 2008-02-09, 夕刊, p. 1を参照。
4. 科学技術・学術審議会学術分科会研究環境基盤部会学術情報基盤作業部会. 大学図書館の整備について（審議のまとめ）：変革する大学にあって求められる大学図書館像. 2010, p.7-8, http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/gijyutu/gijyutu4/toushin/1301602.htm, (参照 2014-01-24) を参照。

5. 科学技術・学術審議会 学術分科会 学術情報委員会. 学修環境充実のための学術情報基盤の整備について（審議まとめ）. 2013, p. 7,
http://www.mext.go.jp/component/b_menu/shingi/toushin/__icsFiles/afieldfile/2013/08/21/1338889_1.pdf,（参照 2014-01-24）を参照。
6. 科学技術・学術審議会 学術分科会 学術情報委員会. 学修環境充実のための学術情報基盤の整備について（審議まとめ）. 2013, p.7,
http://www.mext.go.jp/component/b_menu/shingi/toushin/__icsFiles/afieldfile/2013/08/21/1338889_1.pdf,（参照 2014-01-24）を参照。
7. ICT(Information and Communication Technology)とは、情報通信技術のことで、総務省は、2003年まで、「IT政策大綱」を発表していたが、2004年8月から「ICT政策大綱」へ名称変更した。総務省.平成17年度 ICT政策大綱. 2004年8月, p. 1,
http://warp.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/235321/www.soumu.go.jp/s-news/2004/pdf/040827_7.pdf,（参照 2014-01-24）を参照。
8. ACRL（米国大学図書館協会）の「高等教育機関における図書館基準」でも、図書館によって行われるべき活動として、「図書館の職員は、情報リテラシー学習をカリキュラム、コース、課題に取り込み、その成果がえられるように教員と協力し合う」としている。Association of College and Research Libraries. Standards for libraries in higher education. Association of College & Research Libraries, Chicago, 2011, p. 11,
<http://www.ala.org/acrl/sites/ala.org.acrl/files/content/standards/slhe.pdf>（参照 2014-01-24）を参照。翻訳は、永田治樹. 図書館は大学にどの程度の効果をもたらしているか: ACRL(米国大学図書館協会)の新「高等教育機関における図書館基準」（特集 大学図書館2012）. 図書館雑誌. 2011, vol. 106, no. 11, p. 774-775による。
9. 中央教育審議会. 新たな未来を築くための大学教育の質的転換に向けて:生涯学び続け、主体的に考える力を育成する大学へ（答申）, p. 22,
http://www.mext.go.jp/component/b_menu/shingi/toushin/__icsFiles/afieldfile/2012/10/04/1325048_1.pdf,（参照 2014-01-24）, 総務省. 平成25年版情報通信白書. p.421,
<http://www.soumu.go.jp/johotsusintokei/whitepaper/ja/h25/pdf/n5500000.pdf>（参照 2014-01-24）を参照。
10. 総務省. ICTが成長に与える効果に関する調査研究. 2012, p.84,
http://www.soumu.go.jp/johotsusintokei/linkdata/h24_01_houkoku.pdf
11. 放送大学学園. 文部科学省先導的大学改革推進委託事業「ICT活用教育の推進に関する調査研究」委託業務成果報告書. 2011,
http://www.mext.go.jp/component/a_menu/education/detail/__icsFiles/afieldfile/2011/06/16/1307266_1.pdf, p.7, 玉木欽也編. これ一冊でわかるeラーニング専門家の基本. 東京電機大学出版局, 2010, p.66
12. 井原雄人. 大学でのICT利用教育における支援ツールの開発に関する研究: 環境分野で

- の活用と展開に向けて.早稲田大学大学院環境・エネルギー研究科博士学位論文, 2013, 1-4, <http://hdl.handle.net/2065/40182>, (参照 2014-02-16), Betrus, A. K. “Resources.” Januszewski A. & Molenda, M. (Eds.). Educational technology: A definition with commentary. Lawrence Erlbaum Associates. 2008, p. 231を参照。
13. 玉木欽也編. これ一冊でわかるeラーニング専門家の基本. 東京電機大学出版局, 2010, p. 257を参照。
 14. 文部科学省先導的大学改革推進委託事業「ICT活用教育の推進に関する調査研究」委託業務成果報告書. 放送大学学園, 2011, p. 188-189, http://www.mext.go.jp/component/a_menu/education/detail/_icsFiles/afieldfile/2011/06/16/1307266_5.pdf, (参照 2014-02-16) を参照。
 15. Moodleとは. <http://docs.moodle.org/2x/ja/Moodle%E3%81%A8%E3%81%AF> (参照 2014-02-16) を参照。
 16. 野澤和典. Moodleによる教材開発・管理 [英語]. 吉田晴世, 松田憲, 上村隆一, 野澤和典編著; CIEC外国語教育研究部会著. ICTを活用した外国語教育. 東京電機大学出版局, 2008. p. 101を参照。
 17. 永田奈央美ほか. e-Learningの実験的運用とその効果: WebClassとMoodleの比較分析を通して. 静岡産業大学情報学部研究紀要. 2013, vol.15, p.92, http://www.ssu.ac.jp/about/entry_files/research/e-Learning%E3%81%AE%E5%AE%9F%E9%A8%93%E7%9A%84%E9%81%8B%E7%94%A8%E3%81%A8%E3%81%9D%E3%81%AE%E5%8A%B9%E6%9E%9C.pdf, (参照 2014-01-24) を参照。
 18. 野澤和典. Moodleによる教材開発・管理 [英語]. 吉田晴世, 松田憲, 上村隆一, 野澤和典編著; CIEC外国語教育研究部会著. ICTを活用した外国語教育. 東京電機大学出版局, 2008.7. p.102を参照。
 19. 吉岡信和ほか. アカデミッククラウド調査報告書. 2012, p. 89を参照。
 20. Blackboard. <http://www.blackboard.jp/>, (参照 2014-02-16) を参照。
 21. 2013年12月よりCARIN-iにリプレイスした。
 22. 主に以下の文献がある。杉田いづみほか. 三重大学附属図書館における情報リテラシー教育支援. 薬学図書館. 2005, vol. 50, no. 1, p. 27-35, 杉田いづみほか. e-learningシステム"三重大学Moodle"を活用した図書館情報リテラシー講習会. 薬学図書館. 2007, vol. 52, no. 3, p. 246-253, <http://hdl.handle.net/10076/7634>, (参照2014-01-24) , 小松泰信. 情報リテラシー科目のeラーニング化に伴う学習支援体制. 現代の図書館. 2007, vol. 45, no. 4, p. 190-197, <http://hdl.handle.net/10775/2192>, (参照 2014-01-24) , 峯澄子ほか. 三重大学Moodle"を利用した利用者講習会. 大学の図書館, 2010, vol. 29, no. 8, p. 152-153, <http://hdl.handle.net/10076/11378> (参照 2014-01-24) , Etsuko Suzuki. et al. 大学図書館情報リテラシー教育支援でのMoodle活用事例報告, 2013年ムードル・ムート, <http://moodlejapan.org/home/mod/data/view.php?d=14&rid=941>, (参照

- 2014-01-24) , 阿部潤也ほか. 大学図書館員のためのブレンディッド・ラーニング
--Moodleを使ったエルラー的システムの構築. 私立大学図書館協会会報. 2008,
vol.130, p.110-115, <http://hdl.handle.net/10130/683>, (参照 2014-01-24)。
23. 文部科学省. 情報教育の実践と学校の情報化. 2002年, p.1,
http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/zyouhou/020706.htm, (参照2014-01-24) を参
照。
 24. 野末俊比古. 利用教育. 日本図書館協会図書館ハンドブック編集委員会. 図書館ハンド
ブック. 第6版補訂版. 日本図書館協会, 2010, p. 95-96, 日本図書館協会図書館利用教育
委員会. 図書館利用教育ハンドブック. 日本図書館協会, 2003, p. iiiを参照。
 25. 田村俊作. 公立図書館の計画と評価. 日本図書館協会図書館ハンドブック編集委員会
編. 図書館ハンドブック. 日本図書館協会, 2010, p. 136を参照。
 26. Association of College and Research Libraries. (2011). Standards for libraries in
higher education. Chicago: Association of College & Research Libraries, p. 11,
<http://www.ala.org/acrl/sites/ala.org.acrl/files/content/standards/slhe.pdf> (accessed
2014-03-07)を参照。翻訳は、永田治樹. 図書館は大学にどの程度の効果をもたらして
いるか: ACRL(米国大学図書館協会)の新「高等教育機関における図書館基準」(特集 大
学図書館2012). 図書館雑誌, vol.106 no.11, p.774-775を参照。
 27. 情報化の進展に対応した教育環境の実現に向けて. 情報化の進展に対応した初等中等
教育における情報教育の推進等に関する調査研究協力者会議, 1998,
http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chousa/shotou/002/toushin/980801e.htm#1-2,
(参照2014-01-24) を参照。
 28. 高比良美詠子ほか. 情報活用の実践力尺度の作成と信頼性および妥当性の検討(1) 一 尺
度の作成ー日本心理学会第 63 回大会 (中京大学) 発表論文集. 1999,
http://www.hss.ocha.ac.jp/psych/socpsy/inet/takahira99_1.PDF , (参照2014-01-24)
を参照。
 29. 高比良美詠子ほか. 情報活用の実践力尺度の作成と信頼性および妥当性の検討. 日本
教育工学雑誌. 2001, vol. 24, no. 4, p. 247-256, 高比良美詠子. 第5章調査研究の方法.
清水康敬, 中山実, 向後千春編著. 教育工学研究の方法. ミネルヴァ書房, 2012, p. 86-91
を参照。
 30. 準実験とは、条件統制を十分に行うのは困難な場合、因果関係の特定は完全ではない
ものの、グループ間の比較を工夫して行うことによって、ある程度の因果関係の特定
を可能とした研究方法である。お茶の水女子大学文教育学部坂元章研究室編. メディ
アが青少年に及ぼす影響に関する研究の動向-文献調査-報告書. お茶の水女子大学文
教育学部坂元章研究室. 2007, p. 8,
<http://www.hss.ocha.ac.jp/psych/socpsy/SocialContribution/bunken2.pdf>, (参照
2014-01-24) を参照。

31. 総務省. 平成25年版情報通信白書. p.55-56,
<http://www.soumu.go.jp/johotsusintokei/whitepaper/ja/h25/pdf/n1200000.pdf> (参照 2014-01-24) , 総務省. 平成25年版情報通信白書. p.421,
<http://www.soumu.go.jp/johotsusintokei/whitepaper/ja/h25/pdf/n5500000.pdf> (参照 2014-01-24) を参照。
32. 中央教育審議会. 新たな未来を築くための大学教育の質的転換に向けて (答申) . 2012,
p. 22,
http://www.mext.go.jp/component/b_menu/shingi/toushin/__icsFiles/afieldfile/2012/10/04/1325048_1.pdf, (参照 2014-03-07) を参照。

謝辞

以下の皆様方から、ご支援ご協力を頂きました。心より感謝申し上げます。

鈴木佳苗准教授 (筑波大学)

後藤嘉宏教授 (筑波大学)

逸村裕教授 (筑波大学)

高比良美詠子准教授 (中部大学)

藤沢市図書館の職員の皆様

茅ヶ崎市立図書館の職員の皆様

湘南工科大学図書システムワーキンググループ

(鈴木栄教授、デイヴィッド・ハイル准教授、大野英隆准教授、池田勇助教、
木村広幸助教)

資料編

資料 1 審査結果（通知）

資料 2 図書館アンケート用紙

資料 3 Moodle等のICTツールを利用した学習に関するアンケート用紙

資料 4 図書館利用ガイダンス（検索実習）アンケート自由記述

資料1 審査結果（通知）

私大図協発第 11-158 号

2012 年 3 月 12 日

湘南工科大学附属図書館

館長 大谷 真 殿

私立大学図書館協会会長校

立教大学図書館

館 長 石川 巧

研究助成委員会

委員長 齊藤 雅彦

（専修大学図書館）



2012 年度研究助成の審査結果について（通知）

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は私立大学図書館協会の活動にご協力賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、この度は、私立大学図書館協会研究助成「機関研究」にお申込みいただき、誠にありがとうございました。

貴殿からのお申し込みについて 2012 年 1 月 27 日（金）開催の 2011 年度第 2 回研究助成委員会にて審査し、同年 3 月 9 日（金）開催の 2011 年度第 2 回東西合同役員会にて協議した結果を下記のとおりお知らせいたします。

敬具

記

1. 研究助成の採否

採択

2. 研究助成金

（1 年目）599,690 円、（2 年目）560,160 円 計 1,159,850 円

3. 採択の理由

オープンソースの E-learning システム「Moodle(ムードル)」とタブレット端末といった ICT ツールを使用してガイダンス等学習支援を行う実験的な試みであることを評価する。工科大学の特性を活かし、先端的な機器とソフトを使用する手法を研究し、他大学図書館にとって参考になるものとして提示することを期待する。

4. 問合せ先

私立大学図書館協会会長校事務局 立教大学図書館（担当：伊藤）

〒171-8501 東京都豊島区西池袋 3-34-1

Tel : 03-3985-2834 Fax : 03-3985-2499

E-Mail : jaspul@rikkyo.ac.jp

以上

図書館アンケート

記入日： 年 月 日 学部学科名：
学生番号： 氏名：

回答項目の数字は、それぞれについて該当するものを1つ選んで○をしてください。

- 1 まったく当てはまらない 2 ほとんどあてはまらない。 3 あまりあてはまらない。
4 どちらでもない 5 すこしあてはまる。 6 よくあてはまる。 7 非常によくあてはまる。

- 裏面には自由意見欄を設けていますので、図書館に対する意見を自由に書いてください。(裏面に続く)

自由意見欄：図書館に対する意見を自由に書いてください。

ご協力ありがとうございました。

資料3 Moodle等のICTツールを利用した学習に関するアンケート用紙

Moodle 等の ICT ツールを利用した学習に関するアンケート

- この調査は、みなさんの Moodle 等の ICT ツールの利用についてお尋ねするものです。
- すでに同じアンケートを回答してくださった方は、今回は回答しないで、下の口に☑(チェック)を入れ、提出してください。

☐ 私は以前このアンケートを受けたので、今回は回答しません。

- 質問紙は次ページから 10 ページ(合計 22 問+フェイスシート)ありますので、めくり飛ばしや記入もれのないように注意してください。
- このアンケートで得た情報は、私立大学図書館協会助成研究等のための資料として統計的に処理し、メディア情報課が責任を持って管理いたします。お名前やご意見を公表するなどして、ご迷惑をおかけすることはいたしません。また、調査結果は学術研究以外の目的で使用しないことを申し添えます。
- このアンケートに対してご質問等がありましたら、下記担当者にご連絡ください。

湘南工科大学メディア情報課 高池宣彦
TEL: 0466-30-0280 FAX: 0466-34-4373
MAIL: takaiken@center.shonan-it.ac.jp
調査主体: 湘南工科大学メディア情報センター

回答方法

それぞれの質問文をよく読んで、質問に該当する選択肢は、項目の左の口に☑(チェック)を入れ、自由記述の場合は、空欄に記入をお願いいたします。

選択式質問の凡例:

【単一回答】 選択肢を一つのみ選んで☑(チェック)を入れてください。

【複数回答可】 選択肢であてはまるものは全て選んで☑(チェック)を入れてください。

裏面へ続く

1

問1. あなたが利用されている情報機器を、以下からお選びください。

また、そのおおよその利用期間(機種を変えた場合は最初の利用からの期間)をご記入ください。【複数回答可、記述部分あり】

- ☐ 1) 携帯電話(スマートフォンを除く) [年 ヶ月] 機種[]
- ☐ 2) スマートフォン [年 ヶ月] 機種[]
- ☐ 3) デスクトップパソコン [年 ヶ月] 機種[]
- ☐ 4) ノートパソコン [年 ヶ月] 機種[]
- ☐ 5) タブレット端末 [年 ヶ月] 機種[]
- ☐ 6) その他 [年 ヶ月] 機種[]
- ☐ 7) なし

問2. タブレット端末の利用状況について、お聞きます。最近 iPad 等のタブレット型と呼ばれる情報機器の種類が増えていますが、あなたは、タブレット端末をお持ちですか？または、使ったことがありますか？【単一回答】

- ☐ 1) 使用したことがない (→問 3-1 へお進みください。)
- ☐ 2) 使用したことはあるが、自分では持っていない (→問 3-2 へお進みください。)
- ☐ 3) 自分で持っていて使用している (→問 3-3 へお進みください。)
- ☐ 4) 自分で持っているが使用したことがない (→問 3-3 へお進みください。)

問3.

問 3-1. 問 2 で、「1) 使用したことがない」とお答えの方にお聞きます。

タブレット端末に興味・関心はありますか？【単一回答、記述部分あり】

- ☐ 1) 興味・関心はある
- ☐ 2) 興味・関心はややある
- ☐ 3) 興味・関心はあまりない
- ☐ 4) 興味・関心は全くない
- ☐ 5) 分からない
- ☐ 6) その他 [] (具体的にお書きください)

続けて問 3-2 にお進みください

問 3-2. 問 2 で、「1) 使用したことがない」または「2) 使用したことはあるが、自分では持っていない」とお答えの方にお聞きします。タブレット端末を購入したいと思いますか？
また、下記の「3) 特に購入したいと思わない」「4) 全く購入したくない」を選んだ方は、その理由もご記入ください。【単一回答、記述部分あり】

- ☐ 1) 購入したい
- ☐ 2) やや購入したい
- ☐ 3) 特に購入したいと思わない
[理由: _____]
- ☐ 4) 全く購入したくない
[理由: _____]

続けて問 4 にお進みください

問 3-3. 所有しているタブレット端末の種類をお選びください。

また、お選びいただいた端末の製品名を、例を参考にご記入ください。【複数選択可、記述部分あり】

- ☐ 1) iOS(例:iPad) [製品名: _____]
- ☐ 2) Windows 系(例:Windows 8 搭載タブレット) [製品名: _____]
- ☐ 3) Android 系 (例:GoogleNexus、SONYXperia タブレット)
[製品名: _____]
- ☐ 4) その他 [製品名: _____]

問4. あなたの 1 日のおおよその情報機器の利用時間をご記入ください(使う端末が自分の所有であるかどうかは問いません)。ここでの回答は土日祝日を含めた 1 週間の生活を振り返って、1 日あたりの平均を算出してお答えください。なお、「ながら」での複数の情報行動を行っている場合でも、それぞれの時間をお答えください。

I. 授業の予習・復習のための学習での利用(授業時間中は含めない)

携帯電話(スマートフォンを除く)	[____ 時間 ____ 分] (1 日あたり)
スマートフォン	[____ 時間 ____ 分] (1 日あたり)
デスクトップパソコン	[____ 時間 ____ 分] (1 日あたり)
ノートパソコン	[____ 時間 ____ 分] (1 日あたり)
タブレット端末	[____ 時間 ____ 分] (1 日あたり)
その他[製品名: _____]	] [____ 時間 ____ 分] (1 日あたり)

II. 趣味・余暇のための利用(バイトやサークルの時間も含めます)

携帯電話(スマートフォンを除く)	[____ 時間 ____ 分] (1 日あたり)
スマートフォン	[____ 時間 ____ 分] (1 日あたり)

3

裏面へ続く

デスクトップパソコン [時間 分] (1 日あたり)
 ノートパソコン [時間 分] (1 日あたり)
 タブレットパソコン [時間 分] (1 日あたり)
 その他 [製品名:] [時間 分] (1 日あたり)

III. その他のための利用 [(具体的にお書きください)

携帯電話(スマートフォンを除く) [時間 分] (1 日あたり)
 スマートフォン [時間 分] (1 日あたり)
 デスクトップパソコン [時間 分] (1 日あたり)
 ノートパソコン [時間 分] (1 日あたり)
 タブレットパソコン [時間 分] (1 日あたり)
 その他 [製品名:] [時間 分] (1 日あたり)

問5. 学期中の登校日にあなたが実際に大学に滞在している 1 日のおおよその時間をご記入ください。

[時間 分] (1 日あたり)

問6. 学校設置のパソコンの利用についてお聞きします。

学期中の登校日のあなたの 1 週間の生活を振り返ってみて、1 日に平均した場合の学校設置のパソコンのおおよその利用時間をご記入ください(その場所の設置パソコンを使わない場合は「0」とご記入ください)。

【図書館 2 階窓際のパソコン】 [時間 分] (1 日あたり)

【図書館 3 階のパソコン】 [時間 分] (1 日あたり)

【ICT ルーム Sky 系山英太郎記念教育研究総合センター3 階 A306 室】

[時間 分] (1 日あたり)

【ICT ルーム Marine 系山英太郎記念教育研究総合センター2 階 A202 室】

[時間 分] (1 日あたり)

【所属する学科のパソコン】 [時間 分] (1 日あたり)

【所属する研究室のパソコン】 [時間 分] (1 日あたり)

【その他の場所】[(具体的にお書きください)

[時間 分] (1 日あたり)

問7. 大学で勉強するのにあたって、どういった問題を感じていますか？【複数選択可、記述部分あり】

- ☐ 1) 静かに勉強できる場所が少ない
- ☐ 2) パソコンを使う環境が不十分である
- ☐ 3) 学習の相談ができる場所が少ない
- ☐ 4) 問題は感じない
- ☐ 5) その他 [](具体的にお書きください)

問8. 大学のパソコンの環境にはどういった問題がありますか？【複数選択可、記述部分あり】

- ☐ 1) 備え付けのパソコンが少ない
- ☐ 2) 借りられるパソコンが少ない
- ☐ 3) 自分のノートパソコンが使える場所が少ない
- ☐ 4) 問題は感じない
- ☐ 5) その他 [](具体的にお書きください)

問9. あなたは調べものをするとき、主にどのような方法を用いますか？【複数選択可、記述部分あり】

- ☐ 1) 人に聞く
- ☐ 2) インターネットを使う
- ☐ 3) 紙の資料(図書館、書店、自分の本など)で調べる
- ☐ 4) その他 [](具体的にお書きください)

問10. あなたが調べもので人に聞く場合は、主に誰に聞きますか？【複数選択可、記述部分あり】

- ☐ 1) 友だちに聞く
- ☐ 2) 先輩に聞く
- ☐ 3) 教員に聞く
- ☐ 4) 家族に聞く
- ☐ 5) 図書館員に聞く
- ☐ 6) その他 [](具体的にお書きください)

裏面へ続く

問11.あなたが調べものをするとき、よく使うインターネットツールは何ですか？【複数選択可、記述部分あり】

- ☐ 1) 検索エンジン [](具体的にお書きください)
- ☐ 2) ウィキペディア
- ☐ 3) Twitter
- ☐ 4) 湘南工科大学附属図書館ホームページ
- ☐ 5) 湘南工大以外の図書館ホームページ [](具体的にお書きください)
- ☐ 6) Q&A サイト
- ☐ 7) Amazon
- ☐ 8) オンラインデータベース
- ☐ 9) その他 [](具体的にお書きください)

問12.湘南工科大学の e-Learning システム Moodle の利用についてお聞きします。

あなたは、Moodle をどのような目的で利用していますか？【複数選択可、記述部分あり】

- ☐ 1) 出席登録
- ☐ 2) 授業中の教員への回答(アンケート等)
- ☐ 3) 授業中の教員への解答(小テスト等)
- ☐ 4) 受講できなかった授業の閲覧
- ☐ 5) 授業の予習
- ☐ 6) 授業の復習
- ☐ 7) 課題レポートの提出
- ☐ 8) 授業中の学生相互のディスカッションや質問
- ☐ 9) 教員やティーチングアシスタントへの質問
- ☐ 10) その他 [](具体的にお書きください)
- ☐ 11) 使用したことがない (問 21 へお進みください。)

問13.今まで利用した Moodle のコースはいくつですか。

[____コース]

問14.あなたの学期中の登校日の 1 週間の生活を振り返ってみて、場所・端末種別の 1 日の Moodle の平均利用時間をご記入ください(使わなかった場合は「0」とご記入ください)。

I. 自宅

携帯電話(スマートフォンを除く) [____時間 ____分] (1 日あたり)

スマートフォン [____時間 ____分] (1 日あたり)

デスクトップパソコン [____時間 ____分] (1 日あたり)

次ページへ続く

ノートパソコン [時間 分] (1 日あたり)
 タブレット端末 [時間 分] (1 日あたり)
 その他 [製品名:] [時間 分] (1 日あたり)

II. 大学内(授業時間は含めない)

携帯電話(スマートフォンを除く) [時間 分] (1 日あたり)
 スマートフォン [時間 分] (1 日あたり)
 デスクトップパソコン [時間 分] (1 日あたり)
 ノートパソコン [時間 分] (1 日あたり)
 タブレット端末 [時間 分] (1 日あたり)
 その他 [製品名:] [時間 分] (1 日あたり)

III. その他 [(具体的にお書きください)

携帯電話(スマートフォンを除く) [時間 分] (1 日あたり)
 スマートフォン [時間 分] (1 日あたり)
 デスクトップパソコン [時間 分] (1 日あたり)
 ノートパソコン [時間 分] (1 日あたり)
 タブレット端末 [時間 分] (1 日あたり)
 その他 [製品名:] [時間 分] (1 日あたり)

問15.あなたが Moodle を利用して、自分の学習に役立っていると思う点をお選びください。【複数選択可、記述部分あり】

- ☐ 1) 受講できなかった授業の閲覧
- ☐ 2) 授業の予習
- ☐ 3) 授業の復習
- ☐ 4) 課題レポートの提出
- ☐ 5) 他の学生とのディスカッション
- ☐ 6) 他の学生への質問
- ☐ 7) 先生やTAへの質問
- ☐ 8) その他 [(具体的にお書きください)
- ☐ 9) 役立っていると思う機能はない

また、そう思った理由を、具体的にご記入ください。【複数選択可、記述部分あり】

- [使いづらかった理由をお書きください]

--

☐ 1) 自分の学習に役立っているので、今後も利用したい

☐ 2) 自分の学習に役立つがインターフェイスが使いづらいので、あまり利用したくない

☐ 3) 利用したくない

☐ 1) 満足している

☐ 2) まあ満足している

☐ 3) よくわからないが、どちらかといえば満足している

☐ 4) よくわからないが、どちらかといえば不満だ

☐ 5) やや不満だ

☐ 6) 不満だ

問19. あなたは、Moodle の良さ・便利な点について、どのように思っていますか？【自由記述】

問20. あなたは、Moodle の悪い・不便な点について、どのように思っていますか？【自由記述】

問21. あなたの今後の学習のために、Moodle にどのような機能があったら、もっと利用するとお考えですか？具体的にご意見をお書きください。【自由記述】

問22. このアンケートに対して何かご意見がありましたら、お書きください。【自由記述】

裏面へ続く

フェイスシート

記入日____年____月____日 学生番号____ 年齢____歳

性別 男 女 学科・専攻____ 学年____年

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

資料4 図書館利用ガイダンス（検索実習）アンケート自由記述

2013年度

A. 実習に対する肯定的な意見
1年次は使わないだろうけど、3年あたりになったら使うかもしれないので多少興味が出た。
moodleは、後からやり直しがしやすかったり家で手直しができたりして便利だが、手元に残らないという点で、紙の配布による授業も大切なんじゃないかと思う。エコの時代、紙の消費を少なくするという狙いもあるのかもしれないが、やはり大事なことは紙に書いていつでも手元で確認できるようにしていきたい。普段よく図書館を利用するが、読みたい本や観たいDVDがどこにあるのかわからずに困ってしまうことがいまでもよくあった。今度からは、データベースを積極的に利用して、素早く簡単に本を検索してみようと思う。
noodleを使ったガイダンスはとてもわかりやすいと思いました。これからの大学生活でもっと図書館を使っていこうと思います。
PCが充実していて利用しやすいです。
PCで新聞記事を検索できる機能があることをはじめて知ったのでとても勉強になり、利用したいと思いました。
tanoshikatta
web上でいろいろなことが調べられるので、とても便利だと思った。
yokatta
あまりこのような操作に慣れてないので授業を通して覚えることが出来たのでとても良かったです。これからは検索機関を少しずつ、使っていこうと思います。
ありがとうございました。
ありがとうございました。
アンケートはやりやすかったのでよかった
アンケートやりやすかったです これから課題などで図書館を利用したいと思ったのでありがたかったです。
アンケートや検索実習などの説明がとてもわかりやすかったと思います。
いちいち自分で探さなくても一発で自分の求めている図書が見つかるわけだから便利だと思った。本を探す機会があったら、こういったシステムをどんどん使っていきたいと思った。
いままで似たようなサービスを利用したことはありませんでしたが、このような簡単に検索できるサービスがあることに驚きました。機会があれば利用していきたいと思っています。
いままで情報はインターネットかテレビのニュースからでしか手に入れようとしなかったけど、今日のガイダンスを聞いてこれからは学校の図書館や近くの図書館にも行ってみよう

うと思った。
いままで図書館の使い方があまりわかっていない自分にとってとても役に立つ授業でした。これをきっかけに図書館をさらに利用していきたいと思いました。
ガイダンスやってよかった
このシステムをうまく使い、授業の課題などの役に立てて行こうと思いました。
このままで良いと思う。
この実習を活かして今後の生活につなげていきたいです。
この前はデータベースなど記事の検索することは全然知らなかった、今回の実習の後できっとよく使うと思う。自分は留学生ですけど、図書館は外国語の雑誌が多くなるほうがいいと思う。
これからの大学での提出物のレポート作成などが少し調べやすくなったと思います。これからは少しずつ利用したいと思います。
これからは図書館を積極的に利用したいと思う。
これからも、このようなガイダンスなどで実際に体験するやり方を続けてほしいと思いました。これから課題などが増えると思いますので図書館などももっと利用していきたいと思いました。
これからもmoodleに慣れてきたい
これからもいろんな資料を見てみたいと思った。
これからも活用していきたいと思います。
これからも本を活用していきたい。
これからレポート書くので図書館で資料を集めたいです。
これから調べものをするのに便利なツールを知れてよかった。
こんなに便利な事が出来るとは思わなかった。これからの課題やレポートに活用しやすいと思った。
こんな簡単に記事の検索が出来るなんてしりませんでした。
たぶんこれからも何か調べる際は聞蔵や日経BPではなくweb上の情報を調べると思った。
どこからでも図書館のサイトにログインできるということから、魅力を感じました。PC教室を図書館でももらいたい。
とてもよかったと思う。
とてもわかりやすかった。今後も使っていきたいと思う だが図書館にあるPCの台数をもうちよっとでいいから増やしてほしい
とてもわかりやすかったのでできるだけ利用しようと思います。
とても分かりやすいガイダンスでした。
とても分かりやすく今後の参考になりました。
とても便利だなと思った。これから利用していきたいです。

とても便利なので課題を作成するときに聞蔵Ⅱや日経BPも併用して使おうと思う。
とても便利な機能で今後も利用していきたいと思った。
ネットで検索して図書館のどこにあるのかわかるのは便利だと思った
ネットを使って調べものをするのは前からやっているが、この授業でどの情報が正しいのかをしっかりと把握して使っていきたいと思いました。
パソコンなどで本の検索をしていみせんでしたが、やりかたがわかったのでたくさん活用したいと思います。
パソコンを使った説明はわかりやすくよかった。図書館を積極的に利用したいと思う。
まだいまいちmoodleを使いこなせていないので正直、ついていくのが大変でした。が、moodleのおかげで新聞記事の確認や、図書室での情報も分かるので便利です。
まだ図書館のPCを使ったことがないのでこれから活用してみたいと思った。
もう少し図書館を有効に利用したいと思いました
レポートなどの提出にはぜひ図書館と各データベースを利用していききたいと思いました。
一通り、説明は理解することができた。
鉛筆で記入するのではなく、パソコンで記入できるアンケートだったので楽し早く終わるしよかった。
何か調べ物や資料を調べるときは、図書館にいきます。
課題とか使う機会があったら使いたいと思った。
課題をするときにとても便利だなとおもった。
画期的なシステムだと思った。 いずれ活用したいと思う。
画面をつかったとても分かりやすい授業でした。このやり方を知ったからには、どんどん利用していきたいです。
概ね問題は特になかったです
各自で今回の実習を振り返るのはよかったと思います。
確実な情報元かどうかを判断するにあたって、有効に活用したいと思いました。
学校図書館のホームページの検索機能を使ったことがなかったので今後活用していきたいと思います。
学校内でしか使えないという点以外で優れています。今後、たくさん図書館の利用をしていきたいです。
楽に借りたい本が調べられるため、今後も利用していきたいと思いました。 図書館への要望は特にありません。
活用していこうと思いました。
記事検索サイトを教えていただいたので、簡単に調べることができそうでよかった
記事検索機能など便利な機能が知ることができてよかった。
検索しやすく良いと思った。

検索の仕方が良く理解できた。 頻繁に利用する機会はないだろうけど、 いざというときに利用してみたいと思う。 便利なものがあってよかったと思った。
検索実習についてよく分かりました。これからもっと調べていきたいと思います。
検索実習は、レポートなどを書くときに便利だろうと思った。
検索実習はわかりやすくていい講義だった。今後もなにか調べものするときには実習で使ったようなソフトを使用していきたいです。
見つけたい本を一発で探し当てられるので、とても便利だと思った。
今までこのようなデータベースのサイトを利用したことがなかったので、これからは機会があれば積極的に活用したいと思う。
今までは、あまり図書館を利用していなかったが、これからは利用してみようと思いました。
今まではほとんどwikiで済ましていたので参考になりました。
今まで検索の機能は使ったことがなかったので、今回で少しでも理解できたのならば良かったと思う。
今まで資料をあまり検索して事がなかったのでいい経験になった。
今回、図書館検索実習を聞いて図書館を利用したいと思った。
今回、聞蔵Ⅱを初めて知り、すごく便利だなと思いました。
今回の演習を聞けてMoodleや図書館のサイトの使い方が分かりました。
今回の学習をするまでは図書館のことについてあまり知らなかったけど、この講習を受けて図書館のことが少しわかった。
今回の検索実習で、図書館の利用の仕方がわかった。
今回の検索実習の内容は、自分ではあまり考えたことがなかったものばかりだったので、とても勉強になりました。今後もこういった機会があればいろいろなことを学びたいです。
今回の抗議でデータベース検索の使用方法がわかりましたので今後活用していきたいと思います
今回の講義については説明も丁寧でとてもわかりやすかったです。 これからの課題提出などに活かしていきたいと思います。 無茶な要望かもしれませんが、図書館の入り口の学生証スキャンが面倒です。 せめてタッチ式にしてほしいです。
今回の講義を聞いてもまだまだ分からないことがあるので自分で何度か使い、使い方を覚えたいと思いました。
今回の講習は、図書の使い方、PCでの図書の調べ方を学べたので、また一つの知恵ができた。本校の図書館は、とても興味のある本があったので、時期が良い時には、また借りたいと思う。
今回の実習で今まで図書館の使用方法があまりわからなかったのでWed上でどのような本が図書館にあり自分の借りたい本がどこにあるかまでわかったので助かりました。

今回の実習で図書館の使い方がいろいろあることを学びました。これからどんどん利用していきたいと思います。
今回の実習で聞蔵Ⅱなどの使い方や、Moodleを使うに当たっての注意、課題の提出方法がわかりやすく説明されていた。
今回の実習を終えて資料の説明やシステムがわかりやすくて良いと思いました。
今回の授業を受けて今後の授業のレポートや論文がとてもやりやすくなると思いました。
今回の授業を通して少しずつ使ってみようと思いきや一ミクロンほど思った。
今回聞蔵2をしてこれから情報収集に役立てたいと思っています。気軽に記事を読めるのはとても便利だと思います。
今現在では、こんなに検索が楽で便利になっているとは思いませんでした。これからどんどんお世話になると思います。今までではいろいろ大変でしたが、これからは楽しく調べることができそうです。
今後、調べものをする際に役立てたいと思います。
今後、聞蔵Ⅱや日経BPを利用しようと思う。
今後はこのような機能を使って、調べていきたいと思います。
今後は図書館の本も使って勉強しようと思った
今後も、図書館を利用して様々な資料を活用していきたいと思った。ただ、今回の講習だけではまだ完全に分からないところもあるので、これから図書館に通いながらまた利用法を学んでいきたいと思う。
今後も利用していきたいと思いました。
今後使う機会などがあつた場合、積極的に使っていきたいと思った。
今後調べ物をするときに今回使ったデータベースを利用していきたいと思った。
今日のガイダンスがなかったらこのような便利な機能を知らず大学生活を過ごしてしまうところでした。
今日のガイダンスで学んだことをこれからの勉強に役立てたいと思いました。
今日のガイダンスはとても分かりやすかった。
今日の実習を受けて、いろいろな方法で調べられることを改めて知った。一つの物だけでなく多くの物で情報を調べてみようと思った。
今日の説明はわかりやすかった。
最近のニュースに関心を持つようにしたいです
最初のクイズで著作権の事をまた知ることができた。中学生からやっていなかったのを忘れてしまっていた。図書館の検索システムの使い方がわかったのでこれからのレポートでは使っていきたいと思いました。
使い方がよくわかった
使い方を学んだので、これから活用していきたいと思いました。

私はパソコンをまだ使い慣れていないので今回の講習を受けて、図書館のサイトの使い方を理解できてよかったです。でもまだ完全に理解できていないので、昼休みにいきたいです。
自宅からでも聞蔵Ⅱと日経BPにアクセスできるようにしてほしいと思います。
自分が知りたい情報が素早くわかるようになりとても便利だなと思いこれから役立てられたらいいなと思いました。
自分の手に入れた本が簡単に探索できて良いと思った。
自分はあまりこういう検索システムを利用しないので、図書館も利用しないと思っていたが、使ってみて便利だったので機会があれば積極的に利用したいと思う
自分的には日経BPが使いやすいと思いました。今後も日経BPを使おうと思っています。図書館の要望としては映画のDVDの数を増やしてほしいです。
実習はもっと実践的に見本にならってのほうが手も動いて覚えやすくいいと思います。
詳しい説明ありがとうございました。
情報の入れ替わりも顕著になってくるので、有効に活用してみたい。
情報社会の中、このような機能はとても便利で、必要なことだと思いました。
色々なデータベースがあり、課題の内容に関する検索だけでなく自分の趣味や興味の持ったことを調べたりできることがよくわかり。非常に便利なシステムで必要なときには是非利用したいと思いました。
新聞記事の検索の仕方がいろいろとわかったのでよかった。
図書の蔵書や日経新聞の記事を検索できるのはこれから論文などを書く身としてはとても便利に思えた。
図書館がすごくよかったので、感想がありません。
図書館での検索がamazonのリンクと繋がっているのがすごいと思った。図書館のホームページは今まで使ったことがなかったのでわかってよかったです。
図書館で本も借りてみたいと思った。
図書館などもっと活用していきたいと思った。
図書館についての機能(サポート機能)が充実していてとても使いやすいし、便利だと思いました。
図書館にはあまり行かないので要望などはありませんが、これから使ってみたいと思います
図書館に行く前にコンピュータで調べればお目当ての本があるのかどうかわかるのはとても助かると思います。
図書館に電子書籍や日経のデータベースがあることを知らなかったので、とても参考になりました。
図書館のホームページの知らない機能を知ることができてよかったです。たまにきがむい

たら使いたいと思います。
図書館の係りの人がとても親切で助かりました。今後も利用していきたいと思いました。
図書館の使い道を詳しく学べた。特に、グループ実習室の予約システムの説明はためになった。
図書館の資料を探すときは今日習ったことを生かしていきたい。
図書館の有効活用する方法の一つとして積極的に利用したい。
図書館の利用の仕方がよくわかった。
図書館はそのうち利用するつもりだったので、今回の実習はとてもよかった 図書の検索の仕方も、大体は理解できたので、これから使っていこうと思います
図書館はたまに使っているが、今回の検索実習でもっと細かく知ることができたので、もっと活用したいと思う。
図書館は以前から使かせてもらっていたので、助かりました 今後から便利な機能を活かしていきたいと思います
図書館をあまり使うことがないので、聞蔵II、日経BPなどを使って図書館を利用したいと思う。
図書館をどんどん利用してみようと思いました
図書館をより自由に利用できるようになりそうだ。
先生と一緒に画面操作ができるので、つまづくことなく授業を進めることができた。今後、図書館の利用に役立てたいと思います。要望はまだ利用してないのでありません。
先生の説明もわかりやすく理解しやすい授業でした。要望は特にありません。
全体的にわかりやすかった
全部の情報をすぐ信じたらいけないなと思いました。
探したい本を検索しやすいシステムがあるなんて知りませんでした、ありがとうございます。
著作権のことは知ってたつもりだったが、少し違ったので驚いた法律は難しいと感じた。
著作権の話聞いたのは良かったです 今後、図書館の利用の際はデータベースを積極的に使っていきたいです。
著作権や検索の仕方などいろいろ学べて楽しかったです。
調べたいものをキーワード等で素早く検索でき見つけやすいので、とってもやくに立つものだとして初めて使ってみてわかり、今後利用していけたらと思いました。さまざまな本がそろっているのが図書館への要望はとくになし。
調べたい資料があったら聞蔵や日経で調べられるのは便利だと思った。
定期的に講座を開いてほしい。
電子書籍が充実していることは知らなかった。
読みたい本を探しやすいです。

日経BPのデータベースによく読んでいる資料があったので良いと思いました。これから使っていきたいと思います。
日経BPや聞蔵など記事検索サービスなどを今回の授業で知って、これからのレポートや卒論などに使いたいと思います。
日経BP記事が読めるのは、かなり良いと思った。朝日新聞は個人的に嫌いなのであまりメリットを感じない。
年に1回は、こういった講習会があってもいいかもしれない。
比較的わかりやすかったが、図書館はまだ使ったことがないのでよくわからない。
必要な冊子を探すのは楽かもしれない
普段自分から調べることがあまり無いので今後利用しようと思います。
分からないことがたくさんあったけど話を聞いて使いたいと思った。
聞蔵Ⅱなどの使い方などがわかってよかったです。
聞蔵Ⅱや日経BPなどはなにか調べたりするときに便利なので活用していきたい。
聞蔵Ⅱや日経BPの検索機能が想像よりも優れているもので正直驚いた。新聞や雑誌など、さまざまな昔の記事が読めるのは便利だし機会があれば利用していきたいと思った。
聞蔵Ⅱ、日経BPを初めて知りました。
聞蔵の記事検索がわかりやすかったです。
聞蔵や日経BPを使ってみたいと思った。
聞蔵を使用するかもしれないので、今回の内容を覚えておきたいです。
便利でとても良いと思った。
便利なものが増えていいと思う。
便利な機能を知った 今後も利用する機会があれば使っていきたい。
勉強になった。
本を借りてみようかと思った。
本日の話を聞いて図書館の本の探し方の利用方法が詳しく知ることができた。
理解できた。
B. 実習に対する否定的な意見や改善を求める意見
1コマですべて終わらせられるような検索実習がいい。
Moodleが絶望的に使いづらく見にくい。
moodleだとインターネット環境が整ってる場所でしか見られなくなってしまうが紙ならどこでも出せてどこでも見れると思うので紙を配布しての授業のほうが良いと思いました。
Moodleは授業でも使うので講習を兼ねているのは良いと思いますが、課題の提出が1回きりですと、保存と送信を押し間違えた場合もあるでしょうから、再提出ができるようにしたほうが良いと思います。
Moodleを使った授業もいいと思います。ですが、環境により見られない場合があるので最

低限必要なことは資料配布を希望します。
Moodle自体がやや使いにくいいため、ブラウザ上よりソフトによる操作の方が楽に思えます。
アンケートが難しかったです。
アンケートが面倒であった。moodleその日のものを一番上にしてほしい。一部画像が表示されていなかった。DVDが増えてほしい。
いまいち説明がわかりづらかった。マイクを使わずに説明してほしい。
いろいろ難しくてわからなかった。
こういう実習の際はマンツーマンのほうがわかりやすい。
この授業なくてもいいと思った。
パソコンより紙のほうが気軽にいつでも確認できるので、紙のほうが良いと思った
もうちょっとゆっくり、丁寧に説明してほしい。初心者の私には分かりづらかったです。
もう少し言葉をかみ砕いた方がよいと思います。
もっと、パソコンでやるなら見やすくしてほしい。でも、それなりには理解したからよかった。
もっと使いやすい仕様にして欲しいと思いました。
よく理解できました。少し課題の時間が短かったように感じましたが、自宅などでやるのが前提なのでしょうか。
わかりづらかった。この課題に意味があるのかわからない。
一気に検索できる人数をふやしたほうがよいと思いました。
何が何なのか早くてよく分からなかったです。
課題がわかりづらかった。
課題についての説明がいまいちよくわからなかった、実際に本を借りるとは聞蔵Ⅱで予約していいのか？それとも実際に本のIDを覚え、借りればいいのか？聞き逃していたらすいません。
休講、補講の状況が分かりづらかった
検索ソフトの使い方がよくわからなかった。
検索実習の内容はわかりましたが、見てるだけの部分が多く、少し退屈でした。
今回の実習は、非常によかったと思うが、パソコンからの検索等がたまに訳が分からなくなる時もあり、どこのページに飛んでいるのかが分からなくなった。ゆっくり説明していただきたいと思う。
今日の感想 全体を通してよくわからなかった。もっと丁寧に順序よく説明して欲しかった。使い方もあまり理解できなかった。
最初なので難しく、とても手間取った。なれば良いが今は、大変。
時間が短くて、あまり、分からないです。

授業のスピードが少し早い気がしました。 図書館の本の貸し出しなどについては今のままでも使いやすいので変えなくてもいいと思います。
少し説明が速かった。でも、今日のガイダンスはためになった。
少し早くて理解することができなかつたです。これから使えたら使っていきたいと思いました。
説明が早かったので、あまり理解ができなかつた。聞蔵Ⅱのアクセスを増やしてほしい。
日経BPの使い方がいまいち分かりにくかつた。聞蔵Ⅱは分かりやすいから、今後も使うと思います。
日経BPの使い方がよくわからなかつた。要望は特になし。
微妙に検索方法がわかりづらいのがきになった。
C. 図書館施設に対する要望や感想
2階のPC台数をもっと増やしてくれたらありがたいなと思います。 2階のPCは個人的な事を調べてもいいんですか？ 例えば「欲しいものがあるから調べたい」のような感じでアマゾンなり楽天市場なりを調べる・・・、みたいな。
3階の書庫が暗い、3階にコピー機が無い
CGソフトの参考書を、もう少しソフトの幅を広げて増やしてほしいと思います。
DVDをもっとふやして欲しい。
IPadのみのタブレット端末だけでなく Kindle fire HD など取り入れてほしい。
Macをもう少し増やしてほしいです
PCの数をもっと増やしてほしいと思った
PCの台数や、聞蔵で観覧できる人数を増やしてほしいと思いました。
PC関連の雑誌がもう少しほしいと思った。
Wi-Fiスポットを広げてほしいのと、電波が弱いので改善してほしいです。
いちいちカードを通すのが非常に面倒。
いつも静かで快適で本が読みやすいです。でも二階奥の本棚が何重にも重なっていて少し見づらいです。
イラストなどの参考資料を出来れば増やしてもらいたい。
いろいろな設備が整っているのも特にありません。
エアコンが効きすぎて寒い。
スマートフォンの充電器を置いてほしい。
デザインなんかのグラフィック関係の蔵書が読みたいです。
ネットワークのアクセス制限を緩くしてほしい。
パソコンを利用せずに座っているだけの人がいて使いたいときに使えないことが多々あります
マンガおいってください。

もう少し、アニメやゲーム雑誌をふやしてほしい。
もう少しログINを簡単にしてほしい。
もう少し調理系の本が欲しい
もっともっと野球に関する本を用意してほしい。
もっと論文や資料集だけでなく娯楽としての図書を入れてほしいです。特に夏目漱石、あさのあつこ、橋本紡、越谷オサムが著者の本を入れてもらえると嬉しいです。 施設的な面ではとても満足しています。
ライトノベルは置いて欲しい。
ライトノベルや興行収入の高かった劇場化されたアニメなどを積極的に入れて欲しい
ラノベ作品やスポーツ関係の本を増やしてほしい...
一部のサイトがセキュリティーに引っかかって閲覧できないので原則解禁してほしい。
課題にプリントなども出来て、良い設備だと思った。三階は複雑すぎて利用しづらいと思う。
開館時間を早めてほしい
学生向けに外部インターネットにつながったwifiを解放してほしい。
共通教養課題が、学内のパソコンで利用できないところがある。何のためのパソコンなのか。改善をお願いします。
今回の修学基礎の授業を受けて、私はこれまで調べる際に使用した媒体に、データベースも追加して、さらに調べた情報を充実させていきたいと思います。 図書館への要望は、借りようかどうか迷っている本を約30分間まで数冊一時的に取り置きすることができるサービスが欲しいです。その理由は、いくつか借りようと思っている本を選んでいる際に、大量の本を長く持つと落下などで本が損傷する可能性があること。また、本棚に置いたままだと、考えている間に誰かが借りていってしまうことがあるからです。学生証による認証を使えば不可能ではないはずなので、ご検討のほどをよろしくお願いいたします。
今現在の図書館の機能で十分満足できている。ただ少し娯楽向けの書物がないことが残念か
資料を今まで以上にもっと詳細に分野別に置くべき
借りようとする本を調べる時間も設けてほしいです
授業で使うソフトなどが入ってるパソコンが自由に使えたらうれしいです。
小説などのバリエーションを増やしてほしいです。
色々な種類の本があってよかった。
図書館だけの問題ではないかもしれませんが、サイトの閲覧制限？があって問題のないサイトでも閲覧ができなかったり、PCログインに毎回1分近く時間を取られるのは改善してほしい。
図書館で勉強していても、のどは乾くので、飲料スペースみたいなものがほしいです。

図書館にある本がたくさんあります。どんな本や教科書でも借りることができる。
図書館に入る時に、学生証がないと入れないのは、少し不便だと感じました。
図書館のiosのappソフトがほしい。
図書館の映画、新しいのを増やしてほしい。
図書館の設備について アニメ系統のDVDをもっと増やしてほしい
図書館の設備には概ね満足している。
図書館内が暑く感じるので涼しくしてほしい。
図書館内でゲームなどをプレイしているひとが多いのでやめさせてほしい。
設備が、かなりあって使い勝手がいいです。
多くの学生が在籍する湘南工科大学で「聞蔵が(通常時)1アクセスしかできないのは少ないのでは？」と感じた。総合的な利用人数や時間帯をもとに拡張を検討してほしいと思う。
大学の講義で取得できない資格関係の本を充実させてほしい。
知りたい雑誌の情報など聞蔵から容易に検索できる事はいいことだと思うが、やはり学内端末からでないと接続できないのはやや不便と思った。
釣り雑誌を増やしてほしい。
聞蔵Ⅱってログインしないと朝日新聞しか使えないのが不便だなと思った。
聞蔵Ⅱのアクセスが通常1だと少しアクセスが集中するだけで、入りにくくなってしまうので、普段もう少しアクセスを増やしたほうが良いと思いました。
聞蔵Ⅱのアクセス数の制限はもうちょっと増やしてもいいと思う。
聞蔵の1アクセス制限というのを考えて利用しなければならないのが、多少不便に感じます。聞蔵において、ログアウトし忘れて本人が気付かなかった場合には図書館ないし学校側から通達されるのでしょうか？
聞蔵のアクセス制限を緩和してほしい。聞蔵Ⅱなどの便利なシステムを知ることができたのでよかった。これからも使っていきたい。
本の貸し出し期間を伸ばしてほしい。
利用しやすくしてほしい。
留学生のための本が少ないと思うが、できるだけ留学試験や日本語能力試験など買っておいてください
例えばパワーポイントとかpcソフトの貸し出しをしてほしい。
D. その他
tokuninashi
イベントは何なのか気になる。
こうpcでなんでもできるようになって便利になっていると思う。しかし私は図書館にいて直接本を手にとったりするほうが本らしいと感じる。
図書館の要望は今のところなく、現状でも設備は充実しているため、要望は特にない。

図書館は、使わないと思った。
図書館はある程度利用しているが、特に不便を感じず暇な時は気になる自分好みのDVDが おいているので、良い。ただ、本来の用途である本を借りることは一度もしたことがない。
遅刻してきたので少しわからないところもあった
特に無し 個人的なことでWifiのパスワードを教えて欲しい。

2012年度

A. 実習に対する肯定的な意見
役に立つと思う。
本来の時に参加出来なかったが今回とても親切に、そして分かり易く説明してもらい理解 できた。今後レポート作成などで利用する機会があれば使って行きたいと思った。
本を借りる機会ができたのでよかったと思います。
本が探しやすい環境だと思いました。
勉強の予習復習もできるので良いと思った。すぐに本を探せるので便利であると感じた。
聞蔵Ⅱなどの便利なデータベースがあることを知らなかったので、実習を受けて良かったで す。 これからも活用していきたいと感じました。
聞蔵Ⅱなど検索サイトがとても使いやすくすごい便利だと思いました。 これからもなにか あったとき使うかもしれないので覚えておこうと思います
聞蔵Ⅱと日経BPが結構使いやすかったので、今後も使う機会があれば使っていきたいです
聞蔵Ⅱで記事の検索ができるのが便利だった。
普段あまり使う機会がないので、行ってみようと思いました。
日経BPの雑誌を見れる機能はいいと思いました。 授業後にも使ってみようと思いました。
特にはないので現状維持してもらえればいいと思う。
調べ物が簡単にできるのが良かった。
調べものがあつた時など、どのようにすればいいかなどが分かりよかったです。
丁寧で分かりやすかったです。
著作権の理解度を深めることができて良かった。
著作権の期間などは詳しくは知らなかったので、今回知ることができてよかった
著作権のことについて改めて考えることができました。 また、理解が不十分で曖昧な認識 なところもあったのでもっと著作権について知りたいと思いました。
著作権についてわかった！
著作権についてより深く理解できて良かったです。
著作権についてはあまりくわしくは知らなかったけど、実習で少しだけ深く知ることが できたので良かったです。
探したい本があるときに便利

大学の図書館にどのような本が設置されているのか、並びに在庫の有無について学外から調べられることを今回の授業を通して知りました。
全体的にわかりやすかったです。
説明がわかりやすく理解できた。機会があったらまた色々なものを調べてみたい。
図書検索の方法がよくわかった。
図書館や総合センター等にPCが設置されていて、こういった課題が出されても、わざわざ家に帰ってやらなくても良く、すぐに取り組めるのは自分にとっては嬉しいですね。今後も積極的に使っていきたいと思います。
色々なデータベースの使い方や著作権の事がそれなりに分かった気がする 今後何かあった時には利用しようと思う。
充分充実しているので特にはないです。
修学基礎Aの講義を休んでしまっていたので、昼休みを利用した説明会に参加しました。本来の講義より短い時間にも関わらずわかりやすい説明で助かりました。
就職活動や卒業論文に図書館を使うと思うので、為になった。
就職を考える上で、今後正しい情報を入手する1つの方法なので、いつでも使えるようにしていきたいです。
授業では最初はわからなかったけど後日カウンターへ行って詳しい説明を受けて分かりました。蔵書検索は自分の読みたい本を探すのにとても便利でした。
実習は、検索の幅が広がり良かった。
自分の探したい本がすばやく見つかってよかった
自分が知らないことなどを学べてよかったです。
自分が検索できる範囲が増えて、今後が楽になると思った。
使い方がわかるととても便利だった。
今日の修学基礎はとても自分のためになった。
今日のガイダンスは面白かった。
今後も必要な機会があれば積極的に利用していきたいと思います
今後の授業にあたってレポートや就職活動に必要な不可欠だと思いました。
今後の企業についてもっと調べていきたいです。 自分の好きな企業につけるように、頑張りたいです。
今回の話を聞いて図書室の利用法がよく分かったのでこれからも利用したいと思った。
今回の説明で図書館の利用方法をより詳しく知ることができた。
今回の授業で、図書館を積極的に利用しようと思いました。
今回の実習のおかげで多くのことがわかりました。
今回の実習でデータの正確さがいかに重大であるかよくわかった。 今までなぜか遠慮して図書館を利用していなかったのですが、今後はちょくちょく利用したいと思う。

今回の実習で、専用のデータベースがあるのを初めて知ったので、今後はレポート作成にフル活用していきたいと思う。 また、このような機会をきっかけとして確実な情報を探したいと思った。
今回の検索実習で有用な検索サイトが知れてとても役に立った 以後課題作成などがあった場合はぜひとも利用していきたいと思います
今回の検索実習は、データベースを使い調べられたりしたことがとてもためになり良かった。
今回のガイダンスは非常にわかりやすかった。 次回もこのようにしてほしい。
今回のガイダンスで改めて図書館の楽しさや面白さを知ることができました。 ちょっくちょっく図書館に行きたいと思います。
今回で大体覚えたので今後も積極的に使っていこうと思います
今回この実習で学んだことを生かし、資料などが必要になった時には積極的に図書館を利用しようと思います。
今回この講義を聴くことができてよかったと思います。
今回この検索実習をやって、本を積極的に借りたいと思った。
今まで使用したことのないものばかりだったので、今後の学習にもとても役立つと思う。
今までわからなかったことがわかり、とても有意義に時間を使うことができた。
現状では十分だと思う。
検索実際に試してみても、と召喚には多くの図書があることがわかりました。 今後また図書館を利用したいと思います。
検索サイトは既に利用してみたが、わかりやすくて良かったです。
菊蔵は便利でした
活用していきたいです。
学校のパソコンの機能をよく知らなかったものだからこれからは調べものが楽になると思いました
為になったと思います。
わかり易い説明だった。
わかりやすくて良い講習だったと思う。
レポートなどに役立てる知識だと思いました。
リアルタイムで聞きながら実践できるのはいいと思った
よくわかりました。
もちろんのことだけれども、カウンターの対応が優しくて若干涙目になった。
ムードルは便利でよかった
ネット上でできることをさらに知ることができた。

なんとなく使い方や使ったときのメリットなどがわかりました。今後、レポートの提出があると思うので図書館の資料などを有効活用していきたいと思いました。
なんでもすぐに検索できるのはとても便利だと思いました！ 今後は利用するときにきたら使いたいと思います。
なにか情報を集める際に、日経BP等使いたいなと思った。
なかなか種類が多くて助かります。
なかなか興味深かった。
とても分かりやすかった。
とてもわかりやすく指導をいただいて、よかったです。これを機に、これから利用していきたいです。
とてもわかりやすくて図書館を使いたくなった。
とてもよかった。他の授業でも、このような授業形態をとってほしいです。
ちょうどレポートを書かなければいけなかったので助かりました。今後、役立てていこうと思いました。
ちゃんとした検索の方法が知れてよかった。パソコンが重くてイライラした('A')
ためになりました。
ためになりました。
ためになった！今後利用するかもしれない
ためになった。
すごく借りたくなった。
これからレポートなどの制作にとても役に立つと思いました。
これからは利用しようと思った。
このままでいいと思う。
こういうパソコンからの課題を出すことは初めてだったのでけっこう良いと思いました。これからはこういうことはぜひやりたいです。
いつもはgoogleなどの検索サイトを利用し、どうゆう職業があるかなどを探していたのですが、今回のガイダンスで聞蔵Ⅱなどのサイトがあることを知ることができて良かったです。
アンケート形式の問題がよかった
アンケートというかクイズに知らないものがあったりして、割と楽しくできましたと思います。著作権に関してまた新たに知識を得たので、すごくいい機会だと思いました。図書館や施設などに不満な点は今のところありません、満足しています。
ありがとうございました。
あらためて自分の調べたい事を考えられて、その事に関する本を借りたいと思った。
あまり図書館を利用する機会がいままでなかったがこれからはもっと利用していこうと思った。

very good
C.ジャパンナレッジはどんな企業なのかが調べられるので面白いと思った。
20分程遅れて来たので図書館で説明を受けました。丁寧にかつ説明がわかりやすくて良かったです。要望として音楽など充実するのもいいかなと。
B. 実習に対する否定的な意見や改善を求める意見
アクセス枠をもう少し増やしてほしい。
アクセス枠が少なくて、入れなかったのもあったからイマイチ理解できなかった。
話すのが早すぎてあまり理解できなかった
聞蔵Ⅱの使い方を初めて知った(´・ω・`)ジャパンナレッジの存在を知った(´・ω・`) というか図書館よりWikiとかを見たほうが早いからあまり利用しない(´・ω・`)
全体的に、何をさせたいかわからなかった。
説明難しい。
説明の仕方に纏まりがなく、理解しきる前に進んだり、時間が足りなかったり等、もっとしっかり纏めてからガイダンスをするべき。二つのグループに分けて、話がうまく進まないからやめたほうがいい。
説明がよくわからなかった。アクセス数も限られているし手際も悪かった
接続制限があるのは仕方がないことだが、「何分まで」と数少ない時間制限があるのは難があると思う。ネットに繋がらない等で十分に検索ができない学生が居たので、Moodleの使用は非常に便利だけれど平等ではない講義になりかねないかもしれない。このような制限は今回の講義だけかもしれないけれど。
図書館検索実習の説明するスピードが速すぎたと思います。
進むペースが速くてついていけないところがあったので、もう少しゆっくりやってほしかった。
進むのが早かった。
進むスピードが速かった
少し話が早かったが、操作方法もわかったので、まあまあ良かった
少し難しかったと思う
少し授業の進みが駆け足だったので理解しにくい点があった。二回に分けるなどもう少しわかりやすくしてほしい。
少しわかりにくかったです
少しわかりづらかったです。あと調べる時間が接続してるだけで終わったんで考えたほうがいいと思います。
少しわからなかった
少してこずりました。
初心者には難しい内容です

初めて図書館ホームページを利用しましたが、ちょっとわかりにくかったです。
出すときはムードルでもよいが、もらうときは紙がいい
実習中の検索する時間をもう少し設けて欲しかった。ログイン待ちで終わるなんても声も。
実習の時間配分が厳しくついていくのが大変だった。
実習の時間が少なくて大変でした。
自力で分かりました。
自分の興味がある蔵書以外にもお勧めの蔵書などが気になるので、蔵書検索 [1]のところに教授などCCの先生たちのお勧めの蔵書や今、人気の蔵書などの項目を追加してほしい。 Links: ----- [1] http://lib.shonan-it.ac.jp/mylimedio/search/search-input.do
時間が足りないと思った。
紙とMoodleの2つに質問内容と記述欄があるのはややこしいのでどちらか1つに絞ったほうが混乱しないと個人的に感じました。
雑誌をふやしてほしい 本を探すのが大変でした
今日は急ぎぎみにやったので、もう少しゆとりをもってやりたかったです。
今後使うことはない
今回の授業はちょっとわかりづらかったです。
今回の講義は説明をもっとゆっくりにしていれば、スムーズにできたかもしれませんね
検索実習をしているの感想ですが、最後に慌てて進めていたのですべての回答は今日までに終わることができなかったですので、残念です。この後もできる点は良いと思いました。
検索実習は少し駆け足だったように感じました。（自分の頭の回転が遅いだけかもしれませんが）
検索実習はちょっと分からなかった部分があったので大変でした。図書館の3階のパソコンの台数を増やしてほしいです。
検索実習はサイトにアクセスできる人数制限があるので、面倒です。
検索実習はあっても無くてもいいと思います。例えば初めの方の図書館ガイダンスの中にこの内容を入れてもいいのではないのでしょうか。『友人の中では図書館の事なんて今更』などといった意見もありました。他には図書館への要望です。PCを使っている方も中にはいるみたいですが、2FではDVD閲覧場所の隣にありますよね。その時に静かにPCをやりたいと考えている人も中にはいると思います。3Fの静かルームにPCを何台か置いてはどうでしょうか。
検索実習の授業は無駄な時間があったので、もう少し時間を有効に使ってほしい。
駆け足でやっていた部分もあるので後でじっくりやろうと思う。
一方的に説明をやめてもらいたい。 わからない人だっているのに、勝手にどんどん進んで意味が分からない。 わかるように教えて！ 総合司会の人がなぜ一方的なの。
一応自分で理解できたから何とかあったけど、説明が少し早すぎです

ログインの制限があるので、少し使いづらいです…。
ログインできなかったから何とも言えない。
ログインできなかった。
よくわからなくてとまどってしまった部分もあったので、時間に余裕がほしかったと思う。
もっと長いで講習をしてほしかったです。あまりよくわかりませんでした。
もっとゆっくり説明してほしかった
もうすこしゆっくりしてほしかったです
まったくわかんなかった
まだまだ慣れないので、上手く活用していけるか不安。
パソコンは何か有った時に使えなくなりそうなので、紙も使った方が良いと思います。様々な本を取り扱って欲しい。パソコンのパーツや自作の仕方が書かれている本や、ライトノベル、マンガの描き方、キャラクターの描き方、ウメハラというプログラマーが書いた本、プリキュアの制作の話を書いた本、のようなコアな感じの本をもっと取り扱って欲しいです。後、キャラクターの描き方、パソコンの本などを最新の物にして欲しい、技術が変わって使えない物も有ると思うので。
パソコンの機能を上げてほしい。
パソコンが苦手なので今日の授業は大変だった。
ちょっと作業が面倒でした。
それぞれデータベースでログアウト等するのを心掛けるのが大変です。
サイトに入れる人数をもう少し多くしたほうが良いと思う。
サーバーが重すぎ、まともにPCが動かなかったせいで課題ができなかった
この授業で何を伝えたかったのか理解期し難い。次回もあるようならもっと効率的にするべきだと思います。
この機能は、良いと思うが少しわかりにくかった。
このような利用の仕方があるのを知らなかったなので、今日この授業でいろいろ知れてよかったです。パソコンが重過ぎました。
情報工学科がやるような内容とは思えない。
ガイダンスの進行が早かった。
ガイダンスなんだから皆が同じ条件でできるようにしてほしかった。
いろんなサイトで検索するのが難しかった
いろいろ難しかった。
アンケートは必要ないと思う。
アンケートくらいなら考えればできるけれど今回のような限られた時間内、起動も重いのにあの短い時間ではできるものもできないと思いました。できれば紙で実際にやってみたほうが伝わりやすいと思いますし、理解もしやすいと思いました。

Windows7が入っているのになかなか設備がいいな一と思いました 検索実習は初めてやる ことが多かったのが難しかったです。
Moodleについてですが、配色への配慮を感じられないので改善を求めます。重要な単語に 色付けするのは大変ありがたいですが、あまりにも色の量が多い為かえって読み辛いと思 います。
1 限やるのは無理がある。それにはやい。やる量が多い。
C. 図書館施設に対する要望や感想
図書館はとても静かですごく集中して学習できる場がいいと思います。
図書館に漫画を置いてほしい。 視聴覚コーナーのDVDの種類を増やしてほしい。 新作の DVDも置いてほしい。
図書館にはまんぞくしてます。
図書館といえばなんか重い感じの場所かと思っていたけど意外にきやすかった。
図書館ではDVDが見れたり、本の種類の多さに驚きました。今まではDVDを使うことが無 く使わなくてもいいかなと思っていました。DVDがあつてとても便利になったり、勉強も しやすかったです。
料理の本が置いてあることは助かったがもう少しレシピ本を増やしてもらいたいと思った
聞蔵Ⅱ等の人数制限をもうすこし増やしてもらいたい
聞蔵Ⅱの使い方を初めて知った（´・ω・`） ジャパンナレッジの存在を知ることができ た。図書館で電子書籍などを利用する気がない（`・ω・`）
文庫本の数を増やしてほしい。
日経BP等がMoodleからのアクセスならパスワードの要求なしにログインできるといいと 思いました（自宅PCの場合）。契約上不可能でしょうが・・・。
日経BPなど家で使えないので不便だと思った。
特に無し。 それなりに良い施設だと思う。
展示増やしてほしい。
蔵書検索のブラウザが重かったので、一度に入れる人数を増やすなどの対策をしてほしい。
絶版になったPCのソフトウェアなどの資料がほしい。
静かに勉強できる場所があるのがいい。 漫画があると大変喜ばしい。
図書室にざっしをいろいろおいてほしい。
図書館はさまざまな蔵書があつて面白いが、クリエイターに役立つ資料が少ないと感じる。 いや、よく探していないだけかもしれないけれど、 もう少し目立つ所に置いてほしい。
図書館の使い方をもっとわかりやすくしてほしいです。
図書館のトイレを増やしてほしい。
図書館のDVDを見るときに使うヘッドフォンを新しくしてほしい。
図書館に入る時に使用する、学生証リーダーの向きを横向きではなく、縦向きにしてほし

い。
図書館に一般文学や野球の本が少ないのが気になる。
図書館にライトノベルなども置いてほしいかなーと思いました。
図書館でパソコンを使いたいときに使えなかったのでパソコンの台数を増やして欲しいと思いました
図書館での蔵書検索は何度も使わせていただいています、図書館に置かれていない本が多く、借りられないということが多々あります。 できればよろしいのですが、理系の専門誌以外にも現代評論文なども数冊置いていただけたらと思います。
職業系の本の職種が少ないので増やしてほしい。
情報や電気電子の回路の分野で共通している本を探してみたいと思った。 またそういったおすすめ専門書を紹介してもらえると、情報や電気電子の学生にとっても良いのではないのでしょうか。
自作PCについてなどの本が増やしてほしい！
使用可能なPCの台数を増やして欲しい。
今回の実習で図書館をうまく利用していきたいと思ったので、もっとたくさん本が入ると嬉しいです。
円谷英二監督に関わった映画のDVDを置いて欲しい。
映画などのDVDをもう少し充実させてほしい。
もっと蔵書数を増やしてほしい。特に工学関係。
もっと資料を増やしたら調べ物もしやすいと思います。
もっといろいろな本（雑誌）を取り入れてほしい！ヘアーカタログやファッション雑誌など！
デジタル絵の描き方の本がもうちょっとあればいいなと思いました。自分がもしかしたら探せてないだけかもしれませんが・・・。SAIのソフトを使った本がほしいです。
スポーツ系の雑誌をもっと幅広い形で置いてほしい
コンピュータに関する資料をたくさん用意してください。(特にウィルス、エラー対策)
これが読みたいと思うような本がないのもっと本数を増やしてください。
Moodleは、授業の課題などに利用するのに便利だと思った。図書館はよく利用しているが、3階にもネット環境があればよいと感じた。
IPadを増やしてほしいです。
DVD視聴エリアのヘッドフォンの一部が小さくて耳が痛くなる 改善してほしい
DVDを増やしてほしいというのが図書館への要望です
DVDの種類をもう少し増やしてほしいです よろしくお願いします
androidのタブレットが少しでもいいから置いてほしい
3階が静かすぎて入りづらい。トイレをきれいにしてほしい。

[笑顔]図書館の自動書架に入ってる記事は読み方がわかりません
図書館にはさまざまな種類の本があるが、一般小説のような読みやすいものも入れてもらいたい。 図書館の使い方がよくわかった。
すごい 、いろいろの本があります。
D. その他
設備等に特に不満はないです
図書館のiPadを使ったことない。
お疲れ様でした。
DVDが横長になる。
3年次あたりに就職活動をする時に頻繁に利用すると思うのでその時に何かあれば。今はあまり利用しないので特にありません。